

秘 書 課

○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を伊勢市表彰条例に基づき第18回の表彰を次のとおり行った。

1 伊勢市民功労賞

- ・ 多年固定資産評価審査委員会委員として納税者の権利保護に寄与された（2名）
- ・ 多年教育委員会委員として教育行政に尽力された（1名）
- ・ 多年総連合自治会役員として地域社会の発展のために尽力された（1名）
- ・ 多年自治会長として地域社会の発展のために尽力された（1名）
- ・ 多年学校医として児童生徒の健康管理に尽力された（1名）
- ・ 多年学校歯科医として児童生徒の口腔衛生管理に尽力された（2名）
- ・ 多年民生委員・児童委員として社会福祉の向上に寄与された（4名）
- ・ 多年保護司として更生保護活動の向上に寄与された（1名）
- ・ 多年消防団活動に献身奉仕され郷土防災と消防行政推進に寄与された（3名）
- ・ 伝統文化行事の継承のために多額の御寄附をされた（1名）
- ・ 超高齢社会への対応のために多額の御寄附をされた（1団体）
- ・ 子どもたちの未来を応援するために多額の御寄附をされた（1団体）
- ・ 公益のために多額の御寄附をされた（4団体）
- ・ 多年行政相談委員として相談業務に尽力された（1名）
- ・ 多年伊勢市明るい選挙推進協議会委員として有権者の政治意識高揚と投票率向上のため選挙啓発活動に尽力された（1名）

2 伊勢市民文化賞

- ・ 第68回工高生デザインコンクールで優秀な成績を収められた（1名）
- ・ 第11回J:COM杯3月のライオン子ども将棋大会で優秀な成績を収められた（1名）
- ・ 第4回・第5回東京国際合唱コンクール及び第75回全日本合唱コンクール全国大会で優秀な成績を収められた（1団体）
- ・ 第18回地域の伝承文化に学ぶコンテストで優秀な成績を収められた（1団体）
- ・ 多年にわたり公演を通して、地域の文化振興の向上に寄与された（1団体）

3 伊勢市民スポーツ賞

- ・ JOCジュニアオリンピックカップ第53回U16陸上競技大会で優秀な成績を収められた（2名）
- ・ 第5回WK0ジャパンアスリートカップ決勝大会で優秀な成績を収められた（1名）
- ・ 第2回全日本青少年フルコンタクト空手道選手権大会で優秀な成績を収められた（1名）
- ・ 全日本空手道剛柔会全国大会で優秀な成績を収められた（1名）

- ・第28回オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦全日本少年少女空手道選手権大会で優秀な成績を収められた（1名）
- ・令和5年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会で優秀な成績を収められた（1名）

4 表彰式

- ・日時 令和5年11月3日（金・祝） 10時00分～
- ・会場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール

○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・旭日双光章 元市議会議員（地方自治功労）
- ・旭日小綬章 元市議会議員（地方自治功労）
- ・瑞宝双光章 元小俣町助役（地方自治功労）
- ・従五位 元市議会議員（地方自治功労）
- ・旭日単光章 元町議会議員（地方自治功労）
- ・旭日双光章 元市議会議員（地方自治功労）
- ・正六位 元市議会議員（地方自治功労）

○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の伸展と興隆繁栄に寄与するため、全国市長会、東海市長会及び三重県市長会に加盟している。

令和5年度については、全国市長会議通常総会、東海市長会第136回及び第137回通常総会へ出席した。また、三重県市長会は定例会議へ出席した。

1 全国市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)	開催地
5. 6. 7	第93回全国市長会議通常総会 ① 会務報告 ② 令和3年度全国市長会決算報告について ③ 令和5年度全国市長会予算承認について ④ 各支部提出議案審議経過及び結果報告について ⑤ 決議案審議 ⑥ 役員改選	東京都 千代田区

2 東海市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)	開催地
5. 5. 17	第 136 回東海市長会通常総会 ① 令和 4 年度東海市長会会務報告について ② 令和 4 年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③ 令和 5 年度東海市長会歳入歳出予算について ④ 提出議案の審議 ⑤ 決議案の審議 ⑥ 役員改選	静岡県 沼津市
5. 10. 20	第 137 回東海市長会通常総会 ① 提出議案の審議 ② 決議案の審議	岐阜県 郡上市

3 三重県市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)	開催地
5. 5. 11	三重県市長会 5 月定例会議 ① 令和 5 年度三重県市長会役員等の選任について ② 三重県国民健康保険団体連合会役員推薦について ③ 三重県後期高齢者医療広域連合長候補者の推薦について ④ 会務報告について ⑤ 第139回東海市長会通常総会の開催意向について	津 市
5. 8. 1	三重県市長会 8 月定例会議 ① 令和 4 年度三重県市長会歳入歳出決算について ② 令和 4 年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について ③ 三重県市町総合事務組合議会議員の選出について ④ 第 139 回東海市長会通常総会等の開催地について ⑤ 令和 6 年度乳児健診等の単価について ⑥ 令和 6 年度に向けた三重県への要望について ⑦ 第 137 回東海市長会通常総会要望議案について ⑧ 各団体からの市長会への要望等について (男女平等社会実現を求める要請書について、平和行政推進に関する要請書について、原爆死没者慰霊並びに平和祈念の黙とうの周知方について) ⑨ 市長会の会務報告について	津 市
5. 10. 30	三重県市長会10月定例会議 ① 令和6年度三重県市長会歳入歳出予算について ② 令和6年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について ③ 令和6年度乳児健診等の単価について ④ 各団体からの市長会への要望等について (自治労三重県本部からの要請について) ⑤ 市長会の会務報告について	津 市
6. 2. 1	三重県市長会 2 月定例会議 ① 三重県軽自動車税等事務共同処理協議会業務委託契約について ② 令和6年度三重県市長会役員等の選任について ③ 三重県地方税管理回収機構 管理者及び議会議員等の推薦について ④ 第138回東海市長会提出議案の取扱いについて ⑤ 市長会の会務報告について ⑥ 今後の市長会日程について	津 市

デ ジ タ ル 政 策 課

○ デジタル活用推進関係

1 市民サービスの向上

(1) 行政手続きのオンライン化の推進

市民サービス向上のため、行政手続きのオンライン化に取り組み、令和6年3月末で、90種類の手続きをオンライン化した。

○ 伊勢市電子申請システムサービス利用

契約先 株式会社グラファー

利用期間 令和3年12月1日～令和6年11月30日（長期継続契約）

支出額 4,356,000円（令和5年度分）及びクレジットカード決済手数料

○ LoGo フォームサービス利用

契約先 株式会社フューチャーイン 四日市営業所

利用期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

支出額 1,022,010円

(2) LINE を活用した行政サービスの推進

伊勢市LINE公式アカウントを活用し、市民サービスの向上に取り組んだ。

○ GovTech Express サービス利用

サービス内容 LINE チャットボットシステム等のサービス利用権一式

契約先 株式会社 Bot Express

契約期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日（長期継続契約）

支出額 2,491,500円（令和5年度分）

○ LINE 利用者数実績（令和6年3月31日現在） 友だち数：27,701人

○ 令和5年度に開始したLINEを活用したサービス（令和6年3月31日現在）

7月 有料粗大ごみ収集申し込みを運用開始

8月 キッズ☆もっとテラス交流ひろば「あそびーな」予約受付開始

10月 二十歳のつどい事前登録受付・当日入場確認機能開始

2 組織運営の効率化

(1) RPA の活用

RPA（定型的なパソコン操作をソフトウェアで自動化する仕組み）の活用について、職員がシナリオ作成から運用までを行い、6課25業務に適用し、業務の効率化を図った。

○ RPA ソフトウェアライセンス購入

契約先 富士通 Japan 株式会社 三重支店

利用期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

支出金額 829,400 円

(2) AI-OCR の活用

AI-OCR（高精度に帳票を読み取りデータ化する技術）の活用について、12 課 26 帳票で利用し、業務の効率化を図った。

○ LGWAN-ASP 版 AI-OCR サービス利用

契約先 NTT ビジネスソリューションズ株式会社 三重ビジネス営業部

利用期間 令和 4 年 6 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日（長期継続契約）

支出金額 210,100 円（令和 5 年度分）

契約先 NTT ビジネスソリューションズ株式会社 三重ビジネス営業部

利用期間 令和 5 年 6 月 1 日～令和 6 年 5 月 31 日（長期継続契約）

支出金額 1,072,500 円（令和 5 年度分）

(3) チャットツールの活用

庁内での連絡や自治体間での情報共有を効率的に行うため、チャットツールを引き続き利用した。また、三重県及び県内各市町間の意見交換や情報共有の円滑化を図るため、専用チャットグループの運用が開始されたことから、地方交付税業務、マイナンバー関連業務、地方創生関連業務等において、各自治体の担当者間での意見交換等に活用した。

また、職員の業務効率化のため、令和 5 年 7 月に LoGo チャット上で利用できる生成型 AI「LoGo チャット AI アシスタント」を試験導入した。さらに利活用促進のため、「伊勢市職員向け生成 AI 活用推進ガイドライン」を令和 6 年 2 月に策定し、職員向けの研修を行った。

○ LoGo チャットサービス利用

契約先 株式会社フューチャーイン 四日市営業所

利用期間 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

支出金額 5,988,400 円

契約ユーザ数 1,340 ユーザ

3 地域課題の解決

(1) スマートシティ伊勢推進協議会における取組

デジタル技術を活用して、地域課題の解決に取り組む「スマートシティ伊勢推進協議会」において、スマートシティの実現に向けて、普及啓発のためのセミナー開催や各分野の具体的な検討を行うための体制整備に取り組んだ。

① 実証事業の取組

令和 4 年度に設置した商工・観光部会にて、引き続き LINE を活用した観光客の周遊促進及び滞在時間の延伸や満足度向上を目指した実証事業を実施しており、令和 5 年度は、伊勢まつりの混雑緩和対策への活用にも取り組んだ。

② セミナー開催

(ア) 文章生成 AI 利活用セミナー

日 時	令和 5 年 7 月 20 日 (木) 14 時～16 時
参加者	市内事業者等 34 名 市職員 10 名
内 容	生成 AI (ChatGPT 等) の基礎知識、利活用時のポイントの説明
講 師	株式会社 TENHO 児玉 知也 氏

(2) スマートシティ伊勢推進構想の策定

スマートシティの実現に向けて、目指す姿を示す「スマートシティ伊勢推進構想」を策定するため、学識経験者とスマートシティ伊勢推進協議会の参画団体から推薦された委員で構成する「スマートシティ伊勢推進構想策定委員会」を設置し、4回の会議を開催した。また、スマートシティに関するアンケートやワークショップを実施し、パブリックコメントを経て、令和 6 年 3 月に策定した。

(3) デジタルデバインド対策

デジタルデバインド解消のため、高齢者等を対象としたスマートフォン教室を開催するとともに個別相談できる窓口を開設した。そのほか、国の支援事業「利用者向けデジタル活用支援推進事業」を活用したスマートフォン教室を開催した。

① デジタル活用支援業務委託

契約先	コネクシオ株式会社
契約期間	令和 5 年 3 月 29 日～令和 6 年 3 月 31 日 (債務負担行為)
支出額	5,703,896 円

(ア) スマートフォン教室

対象者	まちづくり協議会、自治会等の団体及び市民
開催期間	令和 5 年 7 月～令和 6 年 2 月
開催回数	47 回 (団体枠 6 回、個人枠 41 回)
参加人数	300 人 (団体枠 60 人、個人枠 240 人)

(イ) スマートフォンの使い方相談窓口

対象者	市民
開催期間	令和 5 年 10 月～令和 6 年 1 月
開催日数	8 日間
参加人数	39 人

② 国事業「利用者向けデジタル活用支援推進事業」

(ア) 連携企業 コネクシオ株式会社

対象者	視覚障がいのある人
開催期間	令和 5 年 11 月～令和 5 年 12 月

開催回数 10回

参加人数 25人

(イ) 連携企業 株式会社 HONKI

対象者 市民

開催期間 令和5年12月～令和6年1月

開催回数 20回

参加人数 74人

(4) オープンデータの推進

行政の透明性・信頼性の向上、市民と行政の協働促進及び地域経済の活性化を目的として、市が保有するデータを二次利用可能なルールのもとで、伊勢市公式ホームページ内の「伊勢市オープンデータライブラリ」にて公開しており、令和5年度はデータの充実と利活用の推進に取り組んだ。

○ 伊勢市オープンデータライブラリ

登録データ件数 47項目 1,698件（令和6年3月31日現在）

○ 宇治山田商業高校情報処理科との連携

宇治山田商業高校情報処理科3年生33名が8グループに分かれ、広く自分たちで収集した情報とオープンデータを活用し、地域活性化について学び、地域課題の学習成果を市長に報告した。

・令和5年11月2日 関係所属への中間報告会

・令和6年1月23日 市長への学習成果の報告会

(5) 外部人材の活用

スマートシティを推進するため、総務省の地域活性化起業人制度（企業人材派遣制度）を活用して知識・ノウハウを有する人材の派遣を受け入れた。

○ 地域活性化起業人制度による派遣に関する協定

協定締結先 日本電気株式会社

派遣期間 令和5年7月1日～令和6年3月31日

派遣人数 1人

支出額 4,200,000円

4 デジタル化の推進

(1) 伊勢市デジタル行政推進ビジョンに基づく取組

令和4年度に策定した「伊勢市デジタル行政推進ビジョン（アクションプラン編）」に基づき、庁内のデジタル化を進めた。また、各施策の効果を検証し、目標管理課と調整のうえで成果目標の見直しを検討した。

(2) 伊勢市デジタル推進本部ワーキンググループの運営

全庁横断的にデジタル化を推進していくため、3つのワーキンググループを設置し、各テ

ーマについて検討した。

○ ワーキンググループ 計 26 人

- ・ デジタル戦略検討ワーキンググループ 10 人
アクションプランの進捗確認、部局内の調整など
- ・ 施設予約オンライン化検討ワーキンググループ 7 人
施設予約のオンライン化の検討
- ・ 若手ワーキンググループ 9 人
デジタル技術等の利活用拡大

(3) 職員のデジタルリテラシーの向上

① 研修会の開催

デジタル政策課が実施する各種取組について理解を深め、今後の全庁的なデジタル化推進を図るため、研修会を開催した。

(ア) DX 推進研修

日 時 令和 5 年 7 月 26 日 (水) 10 時～11 時 30 分

参加者 市長、副市長、各部局長等 27 人

内 容 デジタル技術を活用した事業戦略、他自治体のデジタル技術活用事例など

講 師 株式会社キネッソジャパン 小林 圭介 氏

(イ) DX マインドセット研修

日 時 令和 5 年 10 月 17 日 (火) 13 時～14 時 30 分、15 時～16 時 30 分

令和 5 年 10 月 18 日 (水) 9 時 30 分～11 時、13 時～14 時 30 分

15 時～16 時 30 分

参加者 課長補佐・係長 136 人

内 容 デジタル技術を活用した事業構築、サービスデザインの思考など

講 師 株式会社キネッソジャパン 小林 圭介 氏

(ウ) デジタル推進員研修

日 時 令和 5 年 9 月 19 日 (火) 10 時～11 時、13 時 30 分～14 時 30 分、
15 時 30 分～16 時 30 分

参加者 各所属デジタル推進員 53 人

内 容 デジタル推進員の役割、オンライン申請システムの基礎

講 師 デジタル政策課

(エ) オンライン申請システム活用研修

日 時 令和 6 年 1 月 30 日 (火) 10 時～11 時 30 分、14 時～15 時 30 分

令和 6 年 2 月 9 日 (金) 10 時～11 時 30 分、14 時～15 時 30 分

参加者 職員 30 人

内 容 オンライン申請システムの基礎・応用

講師 デジタル政策課

(オ) 汎用（簡易）型 GIS（WebGIS）操作説明会

日時 令和5年12月4日（月）14時～15時30分

参加者 各課の希望者 41人

内容 汎用（簡易）型 GIS（WebGIS）の操作説明及び活用事例の紹介

講師 中日本航空株式会社（システム保守事業者）

(カ) LINE 活用研修

日時 令和6年3月5日（火）10時～11時、14時～15時

参加者 職員 12人

内容 効果的な LINE 配信、先行事例紹介など

講師 デジタル政策課

(キ) 生成型 AI 活用研修

日時 令和6年2月7日（水）9時30分～11時30分、14時～16時

令和6年3月12日（火）9時30分～11時30分、14時～16時

参加者 職員 64人

内容 生成型 AI の概要、操作体験、利用時の注意事項説明など

講師 株式会社 TENHO 児玉 知也 氏

② Web セミナー等への出席

DX やスマートシティ推進関連の最新の動向、デジタル技術を活用した地方自治体の取組事例などの情報収集を目的として、Web セミナー等に参加した。

③ その他、職員のデジタルリテラシーの向上、意識改革に向けた取組

職員の ICT に関する基礎知識の習得や課題解決の向上が求められていることから、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催するデジタル人材の育成に係るリモートラーニングに、職員 220 名（会計年度任用職員を含む）が受講申込をした。

○ 情報システム関係

1 三重県・市町DX推進協議会及び外部専門家支援事業への参加

三重県と県内市町間の連携を強化し、行政におけるDXの推進と社会全体のDXの推進を図ることを目的に設置されている、三重県・市町DX推進協議会に参加し、自治体DX推進に向け取り組んだ。

また、（公財）三重県市町村振興協会が実施している外部専門家による支援事業やケーススタディに参加し、住民情報関連の自治体情報システムの標準化・共通化に関する情報収集等を行うとともに市町間の情報共有を図った。

2 伊勢市システム管理・セキュリティ委員会の開催

情報システム及びネットワークシステムの整備・管理に関すること並びにサイバーセキュリテ

の確保を図るため、藤本副市長を委員長とした、伊勢市システム管理・セキュリティ委員会を設置している。

令和5年度は、委員会を16回開催し、システム更新等における競争性の確保を基本に置きながら、各課業務の効率化やサービス向上、システムの安定稼働を念頭に適正な仕様内容等を検討した。

3 住民情報関連の自治体情報システム標準化・共通化対応

(1) システム標準化に向けての対応業務

標準化法に基づく「地方公共団体情報システム標準化基本方針」により、地方公共団体は令和7年度末までに住民記録や税関連等の基幹系20業務について、標準化基準に適合する基幹業務システムに移行することが求められている。

総務省の「自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書」に基づき、庁内推進体制の整備及び移行計画の策定を行った。また、システム事業者各社への情報提供依頼（RFI）を行い、その結果を踏まえて調達方式を決定した。

対象となる20業務を担当する12所属において、標準仕様書と現行システムとの比較分析や業務フロー等の差異の確認、対応策の検討を行っており、その進捗管理を行った。

(2) 文字同定作業支援業務（戸籍住民課執行）

標準化に伴い文字の統一化が図られ、市独自の外字が使えなくなることから、標準のシステム文字と現在利用している文字との字形の比較や合わせこみを行うため、文字同定作業の支援業務を委託した。

○ 伊勢市総合住民情報システム文字同定作業支援業務委託

契約先 株式会社松阪電子計算センター

契約期間 令和5年9月6日～令和6年2月29日

契約額 3,752,100円

4 システム導入・更新関連業務

(1) 住民情報系ネットワークシステムの更新

住民基本台帳、税及び福祉サービス等の基幹システムである住民情報系システムにて利用される、住民情報系のネットワーク機器が令和5年9月末で保守期限を迎えることから、関連機器の調達、更新、設定等を行った。

○ 住民情報系ネットワーク更新業務委託

契約先 株式会社松阪電子計算センター

契約期間 令和4年12月28日～令和5年9月30日（債務負担行為）

契約額 5,702,400円

ネットワーク機器調達

契約先 株式会社アイ・シー・エス三重営業グループ

契約期間 令和5年1月25日～令和5年7月31日（債務負担行為）

契約額 16,443,570 円

(2) 管理職員用端末の更新

議会及び庁内会議のペーパーレス化推進に必要な環境整備と、事務用端末の OS サポート期限切れの対応準備のため、管理職員が利用している事務用端末 115 台をノート型パソコンにて更新することとし、端末設定業務を含めた端末調達を行い、利用端末を置き換えた。

○ ノート型パソコン調達

契約先 ミツイワ株式会社 サービスエンジニアリング本部
三重フィールドサービス部 伊勢営業所

契約期間 令和 5 年 6 月 21 日～令和 5 年 10 月 31 日

契約額 19,547,000 円

(3) 行政情報系資産運用管理システム用サーバ機器の更新

業務の効率化、セキュリティレベルの向上等を目的とし、資産運用管理システムを導入し、行政情報系端末の管理、ソフトウェア配布、記録デバイスの制御、PC 操作ログの管理等を実施しているが、このシステムが導入されているサーバ機器等が、令和 5 年 9 月末に保守期限を迎えるため、サーバ機器等を更新した。

○ 伊勢市 IT 資産運用管理システム機器更新業務委託

契約先 ミツイワ株式会社 サービスエンジニアリング本部
三重フィールドサービス部 伊勢営業所

契約期間 令和 5 年 5 月 31 日～令和 5 年 9 月 29 日

契約額 5,610,000 円

(4) 行政情報ネットワーク無線 LAN 環境整備準備作業

本市行政情報ネットワークの無線 LAN 化を行うにあたり、本庁舎及び 3 総合支所、健康福祉ステーションにおける無線 LAN 環境整備の事前準備のため、無線 LAN 電波調査（サイトサーベイ）を行った。

○ 伊勢市ネットワーク無線 LAN 環境電波調査等業務委託

契約先 西日本電信電話株式会社 三重支店

契約期間 令和 6 年 2 月 16 日～令和 6 年 3 月 22 日

契約額 1,248,500 円

5 システム改修・法制度改正対応等関連業務

(1) 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）への対応業務

社会保障・税番号制度対応にあたり、令和 5 年 6 月版データ標準レイアウトへの変更に伴う、システム改修を行った。

○ 伊勢市総合住民情報システム改修業務委託（令和 5 年 6 月社会保障・税番号制度データ標準レイアウト改版対応）

契約先 株式会社松阪電子計算センター

契約期間 令和5年4月27日～令和5年7月31日

契約額 899,250円

(2) 定年延長制度対応（職員課執行）

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年の年齢が令和5年度から2年に1歳ずつ段階的に引き上げられ65歳となる。このことから、現行の人事給与システムにおいて、定年引上げに対応するため、システム改修を行った。

○ 人事給与システム改修業務委託（定年引上げ対応）

契約先 富士通 Japan 株式会社 東海公共ビジネス部

契約期間 令和5年7月31日～令和6年3月31日

契約額 6,759,500円

(3) 森林環境税対応（課税課執行）

令和5年度税制改正大綱により令和6年度から開始される森林環境税に対応するため、システム改修を行っている。

○ 伊勢市総合住民情報システム改修業務委託（森林環境税対応）

契約先 株式会社松阪電子計算センター

契約期間 令和5年12月27日～令和6年6月28日（事故繰越）

契約額 3,539,250円

(4) 会計年度任用職員の勤勉手当対応（職員課執行）

地方自治法の一部改正に伴い、令和6年度よりパートタイム会計年度任用職員に対し勤勉手当の支給が可能となる。このことから、現行の人事給与システムにおいて必要となるシステム改修を行っている。

○ 人事給与システム改修業務委託（会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給）

契約先 富士通 Japan 株式会社 東海公共ビジネス部

契約期間 令和6年3月14日～令和6年7月31日（債務負担行為）

契約額 1,851,300円

(5) 障害福祉サービス等報酬改定対応（高齢・障がい福祉課執行）

令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定に伴う、システム改修を行った。

○ 障害者総合支援システム改修業務委託（令和6年度障害福祉サービス等報酬改定）

契約先 株式会社松阪電子計算センター

契約期間 令和6年3月19日～令和6年3月29日

契約額 490,050円

6 セキュリティ対策事業

(1) 情報システム等に関するセミナーの受講

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催する、情報システム等に関して3セミナーを受講し、情報システム等に関する知識の向上を図った。

(2) eラーニング等の研修受講

総務省が主催する、マイナンバーに関する情報連携の仕組みやセキュリティ対策に関する Web 形式の研修について、マイナンバー取扱事務担当者を中心に計 148 人が受講し、適切な取扱い方法等に関する知識の向上を図った。

また、地方公共団体情報システム機構 (J-LIS) が主催する、情報セキュリティに関する Web 形式の研修について、計 202 名が受講し、組織におけるセキュリティ意識、個人情報保護意識の向上を図った。

(3) サイバー防御演習の受講

地方公共団体向けに、国立研究開発法人情報通信研究機構ならびに総務省が主催する、実践的サイバー防御演習 (CYDER) を 1 名が受講し、情報システム管理者としてサイバーインシデントに関する対応能力の向上を図った。

(4) 特定個人情報取扱に係る監査の実施

特定個人情報を利用する所属における安全管理措置の一環として、総務課とデジタル政策課にて、計画に基づいて上半期に収納推進課、介護保険課、戸籍住民課、下半期に医療保険課、保育課、子育て応援課に対して特定個人情報取扱に係る内部監査を実施し、適正な取扱いが行われていることの確認を行った。

7 情報システム関連の危機管理 (防災) 対策

大規模災害罹災時における業務継続に必要な各システムのデータを安全に保管するため、各システムのバックアップデータの入った磁気テープ等を、週 1 回、同時被災のない遠隔地で管理、保管するよう業務を委託した。

8 市税等各種帳票印刷及び資料情報等作成業務

市税等に関する各種帳票の用紙印刷、帳票印字、及び封入封緘等の付随作業を含めた印刷業務、並びに市税等の住民税申告書等の紙資料データを電子データ化する作業等を、関係各課において委託した。

9 全庁向けシステム等の保守

総合住民情報システム及びネットワークシステム等の、庁内各課で横断的に利用するシステムや機器等について、その安定稼働を確保するため、保守委託契約を締結し、保守管理を実施した。

また、総合住民情報システム、行政情報システム及びネットワークシステムについては、契約業者との運用定例会を毎月開催するなどし、システムの安定稼働に努めた。

保守委託契約した主なシステム	保守契約先	契約額
総合住民情報システム	(株) 松阪電子計算センター	円 25,758,480
総合住民情報システム用ネットワーク	〃	2,930,400
ネットワーク・インターネットシステム	西日本電信電話(株)三重支店	14,861,000

10 各課業務におけるシステム運用支援等

各課でのシステム導入や情報機器の購入に伴う発注仕様書の作成を行うとともに、全庁的な情報システム運用管理の観点から仕様書等の内容確認を実施した。

このほか、各課主体のシステム更新に伴い、業者選定でのプロポーザル評価において、選定委員として参加した。

支援内容	件数	備考
仕様書作成	38件	・ノートパソコン、プリンタ等
仕様書等の内容確認	233件	・委託、賃貸借、修繕 133件 ・備品、物品 100件
プロポーザル選定委員	1件	・システム更新 1件

企 画 調 整 課

○ 企画調整係

1 第3次伊勢市総合計画

本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その理念に基づく市政運営のあり方を示すものとして平成30年に策定した第3次伊勢市総合計画の推進を図った。

(1) 第3次伊勢市総合計画中期基本計画の進行管理

令和4年7月に策定した中期基本計画（令和4年度～令和7年度）について、令和4年度の事業や取組の進捗状況等を整理、評価し、それを踏まえた今後の方向性を整理した。

(2) 伊勢市総合計画審議会

伊勢市総合計画条例第8条の規定に基づき、学識経験者、公共的団体等の代表者、関係行政機関の職員等15名で構成する伊勢市総合計画審議会において、審議を行った。

・令和5年度第1回伊勢市総合計画審議会

開催日：令和5年7月18日

場 所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階 大会議室

内 容：第3次伊勢市総合計画中期基本計画の進行管理について

2 行財政改革

総合計画に基づく各種の事業・取組等を推進するにあたり、時代にふさわしい、また、持続可能な公共サービスを提供するため、行財政改革の推進を図った。

(1) 伊勢市行財政改革指針（令和4年度～令和7年度）の進行管理

令和4年3月に策定した伊勢市行財政改革指針（令和4年度～令和7年度）に基づき、令和5年度以降の取組計画等を整理した「伊勢市行財政改革指針取組テーマレポート【令和5年度】」を策定した。

(2) 伊勢市行政改革推進委員会

学識経験者など7名の委員で構成する伊勢市行政改革推進委員会において、行政改革の推進に係る調査審議を行った。

・令和5年度第1回伊勢市行政改革推進委員会

開催日：令和5年4月26日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館4階 4-2会議室

内 容：伊勢市行財政改革指針（令和4年度～令和7年度）の令和5年度テーマレポート（案）について

3 定住自立圏構想

国の定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で、伊勢志摩定住自立圏を

形成している。

(1) 第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの策定

圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン（平成30年度策定）」の計画期間が令和5年度で終了することから、これまで進めてきた取組についての進捗状況や課題等を整理した。また、引き続き地域全体で必要な生活機能などを確保し、人口定住を促進するための具体的な取組を定める「第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン（令和6年度～令和10年度）」を策定した。

(2) 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

圏域市町の17名で構成される伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会において、第2次共生ビジョンにおける取組事項の進行管理及び第3次共生ビジョン案の審議を行った。

・令和5年度 第1回伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

開催日：令和5年7月5日

場 所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階 大会議室

内 容：第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン変更案について
第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの策定について
圏域の現状と課題について

・令和5年度 第2回伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

開催日：令和5年9月5日

場 所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階 大会議室

内 容：第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの暫定総括について
第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン案について

・令和5年度 第3回伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

開催日：令和5年10月11日

場 所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階 大会議室

内 容：第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン修正案について

・令和5年度 第4回伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

開催日：令和6年1月17日

場 所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階 大会議室

内 容：パブリックコメントの実施結果及び対応について

4 伊勢市総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情に応じた教育等の振興を図るための重点施策等について協議・調整を行った。

・令和5年度 第1回伊勢市総合教育会議

開催日：令和5年11月22日

場 所：小俣総合支所 3階 大研修室

内 容：不登校・いじめ対策について

5 広告掲載事業

市が所有する様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源の確保及び事業経費の削減などを図るため、広告掲載事業を行った。

○実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、庁内案内板、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、ごみカレンダー、ごみ分別ガイドブック、雑誌スポンサー、倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、伊勢フットボールヴィレッジ広告板、下水道事業パンフレット

○収入額：8,847,800円

○ シティプロモーション係

1 シティプロモーションの推進

市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるべく、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指すシティプロモーションの取組を進めた。

(1) 伊勢市情報発信番組制作・放送

三重テレビ放送株式会社に委託し、同社の制作する地上波テレビジョン放送番組「Mieライブ」内のコーナー枠「旬感Mie」において、市の各種施策やイベントなど、市に関する様々な情報を放映することにより、市外在住者の観光等の誘発、市民アイデンティティの向上及びシビックプライドの醸成を図った。

【情報発信番組一覧】

放 映 日	内 容
5. 6. 16	・ 伊勢市電子図書館 ・ 第104回高柳の夜店開催
5. 11. 8	・ 伊勢わいん特区を活用したワインづくり ・ インクルーシブスポーツの推進
6. 2. 29	・ 伊勢志摩地域の自転車活用推進 ・ 伊勢うどん魅力発信事業

※いずれも夕方6時から30分程度の放送、翌朝に再放送

(2) 情報配信業務委託

高い発信力を有するプレスリリースサービスを活用することにより、独自性・優位性のある市の取組や施策、地域の魅力を配信した。

配信件数：12件

(3) シティプロモーション推進研修

シティプロモーション推進の基本となるマインド醸成と情報発信の実践的なスキル向上を図ることを目的として、所属長・係長級・実務担当者を対象に研修を実施した。

実施日	対象	内容
5. 5.22	所属長	伝わる情報発信について
5.10.24	係長級	情報発信のターゲットやメディアの選定について
6. 2.20	実務担当者	情報発信の基本、情報発信デザインのテクニックについて

(4) 移住・定住の推進

移住検討者向けに市内での暮らしの魅力を紹介する動画を制作・配信するとともに、三重県等が主催する移住相談会に参加し、PRを実施した。また、一定の要件を満たし東京圏から伊勢市に移住した人に、三重県と連携し移住支援金を支給した。

①移住PR動画の制作・配信

伊勢市への移住の関心を喚起することを目的としたPR動画を制作、配信した。

②移住相談会への参加

開催日	テーマ/内容	主催	開催場所
5. 7.30	みえで空き家リノベーション	ええとこやんか三重移住相談センター	オンライン
5. 8. 6	テーマから探す・移住フェア	認定NPO法人ふるさと回帰支援センター	東京交通会館 12階ダイヤモンドホール
5. 8.27	三重県移住フェア in 名古屋 2023	三重県	JPタワーNAGOYA3階カンファレンスA・B・ホワイト
5. 9.30	伊勢志摩移住サミット 2023	三重県	東京交通会館 8階セミナールーム
5.11.12	三重県移住フェア in 大阪 2023	三重県	OMMビル 2階Dホール・E2ホール

③移住支援金の交付

支給件数：1件

(5) 市の花・木・鳥

市の花・木・鳥を知り、愛着をもってもらうため、市ホームページにおいて、花・木・鳥の写真データをオープンデータとして掲載するとともに伊勢市駅前や市営大仏山公園に植樹を行うなど、周知啓発を行った。

2 伊勢市ふるさと応援寄附金

市の貴重な自主財源の確保、地元特産品のPR及びブランド力の向上、市内産業や観光の振興を目的として、ふるさと納税制度を活用した寄附拡大の取組を推進した。

また、地方創生の取組の推進を目的に、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用した寄附拡大の取組も推進した。

・令和5年度掲載返礼品数：927品

【受領した寄附の目的別内訳】

事業区分(活用先)		件数 (件)	金額(円)
市政全般(特に指定しない)		5,284	195,154,700
地域の文化財や民俗行事の保存、住民主体のまちづくり		845	29,586,000
子どもの健やかな成長や子どもを産み育てやすい環境づくり		2,910	113,428,650
切れ目のない福祉・医療の充実、共生社会のまちづくり		488	21,967,400
自然災害への備えや安心して暮らせるまちづくり		517	19,629,000
観光・産業の振興、安定した雇用につなげるまちづくり		1,011	40,077,700
快適な暮らしのための環境づくりや都市基盤づくり		227	9,824,000
市立伊勢総合病院の充実		269	9,831,000
育英基金		287	10,809,000
具体的に用途を指定した方		20	4,940,975
GCF※(猫たちが幸せに暮らす伊勢に!!)		108	1,918,500
GCF※(すべての子どもたちが一緒に遊べる公園に!)		29	476,888
GCF※(輝く未来のために子どもたちの学びを応援したい!)		71	2,458,534
小計		12,066	460,102,347
企業版 ふるさと 納税	・集まれこどもたち公園整備事業 ・奨学金育英事業 ・地域子育て支援センター事業 ・安全安心な観光地づくり推進事業	10	37,400,000
小計		10	37,400,000
合計		12,076	497,502,347

※GCF(ガバメントクラウドファンディング)は、ふるさと納税型クラウドファンディングの1つで、自治体の掲げる課題解決のテーマを応援するために、寄附をする仕組み。

3 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

伊勢市人口ビジョンを踏まえ令和2年3月に策定した「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理を行うため、「伊勢市まち・ひと・しごと創生会議」を開催し、進捗状況等について審議するとともに、情報共有・意見交換を行った。

・令和5年度第1回伊勢市まち・ひと・しごと創生会議

開催日：令和5年7月25日

場 所：伊勢市生涯学習センターいせトピア研修室1・2

内 容：第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

○ 調査統計係

1 市民アンケートの実施

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料を得

ることを目的として、市民アンケートを実施した。令和5年度からは、これまで実施してきた紙による郵送アンケートを取りやめ、オンラインによるアンケート方式に実施方法を変更した。

(1) 周知方法

市ホームページへの掲載及び全LINE登録者への配信

(2) 回答方法

オンライン

(3) 実施時期等

- ・実施時期…月1回（5月～3月の11回） 各3～5問程度
- ・実施期間…実施月の第2金曜日～翌週日曜日
- ・配信時期…第2金曜日の正午

※分野による回答の多寡を抑制するため、分野を混ぜて実施

2 令和5年住宅・土地統計調査（調査周期：5年 所管省庁：総務省）

住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況の実態等を明らかにし、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的として、国から指定された調査区の世帯に対して調査を実施した。

- ・調査期日 令和5年10月1日
- ・調査対象 3,502住戸（206調査区から各17住戸を抽出）
- ・結果公表 令和6年9月（予定）

3 2023年漁業センサス（調査周期：5年 所管省庁：農林水産省）

水産行政に必要な漁業に関する基礎資料を整備することを目的として、5年ごとに水産業を営んでいるすべての世帯や法人を対象に実施される漁業センサスは、海面漁業調査、内水面漁業調査及び流通加工調査の3つの調査で構成されており、市は、海面漁業調査の漁業経営体調査を実施した。

- ・調査期日 令和5年11月1日
- ・調査対象 59客体
- ・結果公表 令和6年8月（予定）

4 2025年農林業センサス調査区設定（調査周期：5年 所管省庁：農林水産省）

2025年農林業センサス（2025年2月1日）の実施に向けて、2024年2月1日現在を調査期日として、農業集落の現況を確認し、農業集落の区域・経営体調査区の設定を行った。

5 三重県人口推計調査（調査周期：毎月 所管：三重県）

国勢調査による人口、男女数及び世帯数を基準に、住民基本台帳における異動を加減して、毎月の人口を推計した。

令和6年3月1日現在

総人口	男	女	世帯数
118,269 人	56,115 人	62,154 人	51,973 世帯

6 学校基本調査（調査周期：毎年 所管省庁：文部科学省）

学校教育行政上の基礎資料を得るため、市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中学校等の園児・児童・生徒数、教員数等を調査した。

なお、中学校については卒業後の進路を、私立学校については学校施設等を併せて調査した。

令和5年5月1日現在

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童 ・生徒数	教員数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公立	園・校 2	人 108	人 16	人 -
	私立	6	298	45	7
幼保連携型 認定こども園	公立	1	90	15	13
	私立	7	1,048	145	43
小学校	公立	22	5,726	434	92
中学校	公立	10	2,945	211	58
	私立	1	61	11	8
計		49	10,276	877	221

7 各種統計調査結果の整理、情報発信

市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の各種統計調査結果データの収集・整理と情報発信を行った。

(1) 市勢統計要覧

市に関する基本的統計データを収録した冊子「2023年（令和5年）版市勢統計要覧」を作成し、発行した。

(2) 伊勢市統計データベース

e-Stat（政府統計の総合窓口）、みえDataBox（三重県所管）から市に関するデータを収集し、市ホームページで「伊勢市統計データベース」を公開した。

(3) 統計レポート

統計に対する市民の関心と理解を深めるため、身近なデータを用いてグラフ化や解説を加えてわかりやすく紹介する「伊勢市統計レポート」を発行した。

- ・令和5年6月15日発行（外国人人口）
- ・令和5年10月5日発行（労働力人口）

8 統計調査員の確保対策

国が実施する統計調査に際して、統計調査員、指導員の選任が困難になっている現状を改善するため、あらかじめ希望者を登録することを目的として、広報いせ、市ホームページ、伊勢市公式LINE等で募集を行った。

また、登録者に対して現況調査を実施し、登録者情報を更新した。

- ・令和5年度新規登録者数 40名（令和6年3月31日現在登録者数 227名）

財 政 課

1 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分	当初予算額 5. 3. 17 議決	補 正 予 算 額		
		5. 3. 17 議 決	5. 4. 12 専 決	5. 4. 19 専 決
一 般 会 計	52,373,500	①784,621	②125,000	③493,000
特 別 会 計	国民健康保険	12,671,565		
	後期高齢者医療	3,496,494		
	介 護 保 険	14,941,339		
	観 光 交 通 対 策	499,827		
	土 地 取 得	472,341		
	計	32,081,566		
合 計	84,455,066	784,621	125,000	493,000

補 正 予 算 額				
5. 7. 5 議 決	5. 7. 5 議 決	5. 10. 10 議 決	5. 11. 21 専 決	5. 12. 20 議 決
④442,883	⑤143,100	⑥71,662	⑦994,553	⑧846,826
				①51,541
				①△14,021
		①271,226		②△15,529
				①516
		271,226		22,507
442,883	143,100	342,888	994,553	869,333

区 分		補 正 予 算 額			繰 越 明許費 繰越額
		5. 12. 20 議 決	6. 1. 19 専 決	6. 3. 15 議 決	
一 般 会 計		⑨382, 148	⑩452, 500	⑪△370, 280	1, 032, 039
特 別 会 計	国民健康保険			②△74, 734	
	後期高齢者医療			②65, 692	
	介 護 保 険			③△46, 935	
	観光交通対策			②118, 416	
	土 地 取 得			①△249, 518	
	計			△187, 079	
合 計		382, 148	452, 500	△557, 359	

区 分		予算総額
一 般 会 計		57, 771, 552
特 別 会 計	国民健康保険	12, 648, 372
	後期高齢者医療	3, 548, 165
	介 護 保 険	15, 150, 101
	観光交通対策	618, 759
	土 地 取 得	222, 823
	計	32, 188, 220
合 計		89, 959, 772

※○内の数字は、補正の回数を表す。

2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

(1) 普通交付税 11, 551, 544 千円

(一本算定)

・ 基準財政需要額	26, 912, 153 千円
・ 基準財政収入額	15, 360, 609 千円
・ 交付基準額	11, 551, 544 千円
・ 調整額	- 千円
・ 交付決定額	11, 551, 544 千円

(2) 特別交付税 972, 912 千円

3 市債の状況

一般会計における市債の状況は、次のとおりであった。

(1) 年度末現在高

令和5年度末現在	57,140,951 千円
----------	---------------

(2) 借入状況

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借入利率	備考
	千円			%	
公共事業等債	103,300	6.3.25	財務省	0.8	※
	34,100	6.3.25	〃	1.1	※
	12,200	6.5.28	〃	0.7	
	316,700	6.5.28	〃	1.0	
	21,100	6.5.28	〃	1.2	
	119,500	6.4.22	市町村振興協会	0.3	
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	51,700	6.3.25	財務省	0.8	※
公営住宅整備事業債	39,900	6.5.28	〃	0.7	
災害復旧事業債	3,400	6.3.25	〃	0.5	※
	32,300	6.5.28	〃	0.7	
学校教育施設等整備事業債	25,300	6.3.25	〃	0.8	
	15,100	6.5.28	〃	1.0	
	28,900	6.5.29	伊勢農業協同組合	0.68	
社会福祉施設整備事業債	41,800	6.3.25	財務省	0.8	
	26,600	6.5.29	伊勢農業協同組合	0.58	
一般補助施設整備等事業債	6,500	6.5.29	東日本信用漁業協同組合連合会	0.4	
一般単独事業債	19,000	6.3.25	全国市有物件災害共済	0.2	
	41,200	6.5.29	伊勢農業協同組合	0.58	※
	35,800	6.5.29	〃	0.68	※
	30,400	6.5.29	東日本信用漁業協同組合連合会	0.4	
地域活性化事業債	24,400	6.5.29	伊勢農業協同組合	0.58	
	40,200	6.5.29	〃	0.68	
防災対策事業債	21,400	6.5.29	〃	0.68	

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借入利率	備考
地方道路等整備事業債	千円 61,100	6.5.29	伊勢農業協同組合	% 0.58	※
	72,800	6.5.29	〃	0.68	
緊急防災・減災事業債	21,000	6.4.22	市町村振興協会	0.2	
	8,600	6.4.22	〃	0.3	
緊急自然災害防止対策事業債	70,900	6.3.28	地方公共団体金融機構	0.8	※
	586,900	6.4.22	市町村振興協会	0.3	
	4,600	6.5.29	伊勢農業協同組合	0.68	※
緊急浚渫推進事業債	30,700	6.4.22	市町村振興協会	0.2	※
	6,900	6.5.29	伊勢農業協同組合	0.58	※
脱炭素化推進事業債	4,800	6.4.22	市町村振興協会	0.3	
臨時財政対策債	256,600	6.5.28	財務省	0.9	
水道事業出資債	56,800	6.5.29	伊勢農業協同組合	0.68	※
計	2,272,500				

備考欄「※」：前年度繰越事業に係る借入分を含む

4 一般会計決算の状況

(1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

ア 歳入

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 市 税	千円 16,902,829	% 30.8	千円 16,585,376	% 28.2	千円 317,453	% 1.9
(1) 普通税	15,496,900	28.2	15,188,736	25.8	308,164	2.0
(2) 目的税	1,405,929	2.6	1,396,640	2.4	9,289	0.7
2 地方譲与税	353,290	0.6	348,734	0.6	4,556	1.3
3 利子割交付金	6,280	0.0	7,191	0.0	△911	△12.7
4 配当割交付金	126,018	0.2	109,210	0.2	16,808	15.4
5 株式等譲渡所得割交付金	138,251	0.3	78,594	0.1	59,657	75.9
6 法人事業税交付金	342,714	0.6	304,286	0.5	38,428	12.6
7 地方消費税交付金	3,104,175	5.7	3,145,951	5.4	△41,776	△1.3
8 ゴルフ場利用税交付金	13,218	0.0	12,328	0.0	890	7.2
9 自動車取得税交付金	3,138	0.0	617	0.0	2,521	408.6
10 環境性能割交付金	51,161	0.1	46,437	0.1	4,724	10.2
11 国有提供施設等所在市町村助成交付金	86,817	0.2	87,294	0.1	△477	△0.5
12 地方特例交付金	129,477	0.2	126,331	0.2	3,146	2.5
13 地方交付税	12,524,456	22.8	12,176,232	20.7	348,224	2.9
(1) 普通交付税	11,551,544	21.0	11,245,940	19.1	305,604	2.7
(2) 特別交付税	972,912	1.8	930,292	1.6	42,620	4.6
14 交通安全対策特別交付金	9,814	0.0	12,075	0.0	△2,261	△18.7
15 分担金及び負担金	627,364	1.1	597,765	1.0	29,599	5.0
16 使用料及び手数料	322,363	0.6	322,611	0.6	△248	△0.1
17 国庫支出金	10,370,800	18.9	11,332,518	19.3	△961,718	△8.5
18 県支出金	3,974,332	7.2	3,841,595	6.5	132,737	3.5
19 財産収入	151,544	0.3	159,479	0.3	△7,935	△5.0
20 寄附金	529,502	1.0	792,934	1.4	△263,432	△33.2
21 繰入金	1,630,127	3.0	1,157,481	2.0	472,646	40.8
22 繰越金	287,600	0.5	470,989	0.8	△183,389	△38.9
23 諸収入	1,012,864	1.8	791,641	1.3	221,223	27.9
24 市債	2,272,500	4.1	6,263,600	10.7	△3,991,100	△63.7
歳入合計	54,970,634	100.0	58,771,269	100.0	△3,800,635	△6.5

イ 歳出（目的別）

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 議会費	千円 291,422	% 0.5	千円 296,591	% 0.4	千円 △ 5,169	% △ 1.7
2 総務費	4,425,107	8.1	4,876,763	8.4	△ 451,656	△ 9.3
3 民生費	23,595,869	43.3	23,352,638	40.0	243,231	1.0
4 衛生費	5,848,283	10.8	6,095,792	10.5	△ 247,509	△ 4.1
5 労働費	57,230	0.1	58,426	0.1	△ 1,196	△ 2.0
6 農林水産業費	1,043,729	1.9	977,279	1.7	66,450	6.8
7 商工費	716,748	1.3	1,236,191	2.1	△ 519,443	△ 42.0
8 観光費	452,072	0.8	485,703	0.8	△ 33,631	△ 6.9
9 土木費	6,022,471	11.1	5,994,111	10.3	28,360	0.5
10 消防費	2,280,026	4.2	2,370,609	4.1	△ 90,583	△ 3.8
11 教育費	3,855,146	7.1	6,826,789	11.7	△ 2,971,643	△ 43.5
12 災害復旧費	125,573	0.2	48,840	0.1	76,733	157.1
13 公債費	5,737,345	10.6	5,703,846	9.8	33,499	0.6
14 諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	54,451,021	100.0	58,323,578	100.0	△ 3,872,557	△ 6.6

ウ 歳出（性質別）

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 人件費	千円 9,681,524	% 17.8	千円 9,933,957	% 17.0	千円 △ 252,433	% △ 2.5
2 物件費	7,267,215	13.4	8,074,747	13.8	△ 807,532	△ 10.0
3 維持補修費	369,072	0.7	331,808	0.6	37,264	11.2
4 扶助費	13,983,520	25.7	12,953,151	22.2	1,030,369	8.0
5 補助費等	8,133,473	14.9	8,508,368	14.6	△ 374,895	△ 4.4
6 普通建設 事業費	3,619,171	6.7	7,630,665	13.1	△ 4,011,494	△ 52.6
(1) 補助事業費	1,710,199	3.1	1,656,489	2.8	53,710	3.2
(2) 単独事業費	1,712,352	3.2	5,750,446	9.9	△ 4,038,094	△ 70.2
(3) 事業負担金	196,620	0.4	223,730	0.4	△ 27,110	△ 12.1
7 災害復旧 事業費	126,333	0.2	49,044	0.1	77,289	157.6
(1) 補助事業費	87,600	0.1	38,654	0.1	48,946	126.6
(2) 単独事業費	38,733	0.1	10,390	0.0	28,343	272.8
8 失業対策 事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
(1) 補助事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 単独事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
9 貸付金	0	0.0	0	0.0	0	—
10 公債費	5,737,345	10.5	5,703,846	9.8	33,499	0.6
11 投資及び 出資金	56,800	0.1	1,100	0.0	55,700	5063.6
12 積立金	231,144	0.4	95,057	0.2	136,087	143.2
13 繰出金	5,245,424	9.6	5,041,835	8.6	203,589	4.0
歳出合計	54,451,021	100.0	58,323,578	100.0	△ 3,872,557	△ 6.6

エ 一般会計決算の市民1人当たりの額

(令和6年3月31日現在人口 119,706人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額
市 税	千円 16,902,829	円 141,203	消 費 的 経 費	千円 39,434,804	円 329,430
地方譲与税	353,290	2,951	人 件 費	9,681,524	80,877
利子割交付金	6,280	52	物 件 費	7,267,215	60,709
配当割交付金	126,018	1,053	維持補修費	369,072	3,083
株式等譲渡 所得割交付金	138,251	1,155	扶 助 費	13,983,520	116,816
法人事業税交付金	342,714	2,863	補 助 費 等	8,133,473	67,945
地方消費税 交 付 金	3,104,175	25,932	投 資 的 経 費	3,745,504	31,291
ゴルフ場利用税 交 付 金	13,218	110	普 通 建 設 事 業 費	3,619,171	30,235
自動車取得税 交 付 金	3,138	26	災 害 復 旧 事 業 費	126,333	1,056
環境性能割 交 付 金	51,161	427	失 業 対 策 事 業 費	0	0
国有提供施設 等所在市町村 助 成 交 付 金	86,817	725	そ の 他 の 経 費	11,270,713	94,152
地方特例交付金	129,477	1,082	貸 付 金	0	0
地方交付税	12,524,456	104,627	公 債 費	5,737,345	47,928
交通安全対策 特 別 交 付 金	9,814	82	投 資 及 び 出 資 金	56,800	474
分担金及び 負 担 金	627,364	5,241	積 立 金	231,144	1,931
使用料及び 手 数 料	322,363	2,693	繰 出 金	5,245,424	43,819
国庫支出金	10,370,800	86,636			
県支出金	3,974,332	33,201			
財産収入	151,544	1,266			
寄 附 金	529,502	4,423			
繰 入 金	1,630,127	13,618			
繰 越 金	287,600	2,403			
諸 収 入	1,012,864	8,461			
市 債	2,272,500	18,984			
歳 入 合 計	54,970,634	459,214	歳 出 合 計	54,451,021	454,873

5 基金の決算状況

条例に定める基金の設置目的に従い、基金に属する現金等の適正な管理を行った。

種 類	区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高
財 政 調 整 基 金	現 金	千円 10,553,552	千円 △536,618	千円 10,016,934
減 債 基 金	現 金	1,528,270	△86,665	1,441,605
ふるさと創生基金	現 金	732,965	△25,900	707,065
国 際 交 流 基 金	現 金	60,000	0	60,000
庁 舎 整 備 基 金	現 金	10,683	23	10,706
職 員 退 職 手 当 基 金	現 金	447,867	978	448,845
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	現 金	7,994	1	7,995
地 域 福 祉 基 金	現 金	211,462	△52,704	158,758
災 害 援 護 基 金	現 金	108,233	236	108,469
中山間ふるさと・水と土 保全対策基金	現 金	48,028	105	48,133
河 川 環 境 基 金	現 金	10,298	22	10,320
育 英 基 金	現 金	115,654	△4,538	111,116
文 化 振 興 基 金	現 金	137,201	△3,143	134,058
地 域 振 興 基 金	現 金	1,769,239	△473,639	1,295,600
景 観 形 成 基 金	現 金	429,345	△4,458	424,887
森 林 づ く り 基 金	現 金	2,602	△2,602	0
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	現 金	227,072	21,742	248,814
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	現 金	59,478	△9,948	49,530
計	現 金	16,459,943	△1,177,108	15,282,835

広 報 広 聴 課

○ 広報いせ発行事業

「広報いせ」を毎月1日と15日（1月・5月は合併号として1日のみ）に発行し、市の方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報、伊勢病院の先生のコラムなどを広く市民に広報し、正しい理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。

また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

（広告掲載件数：209件、収入金額：2,720,000円）

発行号	頁数	発行部数	主 な 記 事
4月15日号	20	54,650	令和5年5月8日(月)オープン「伊勢市健康福祉ステーション」、高校生いせミライプロジェクト「令和5年度メンバーを募集!」、伊勢市内 要約筆記サークル・手話サークルをご紹介!、わが家の防災対策「住宅の耐震化を進めよう」、バス、タクシーの利用料金の一部を助成「おでかけ支援事業が始まります」、第3回 伊勢ブランド認定品をご紹介
5月 1日号	36	54,630	特集「令和5年度 施政方針と当初予算」、小中学校適正規模化・適正配置の進捗状況、ちびっこ超人選手権大会2023、子どもについて気になることがあれば「伊勢市子ども家庭支援ネットワークへ」、5月12日は民生委員・児童委員の日、三重県内男女共同参画連携映画祭2023、「伊勢志摩定住自立圏」の取り組みについて、伊勢市奨学金制度・臨時特例奨学金、5月は消費者月間です!、対象は自治会「防犯灯・防犯カメラに関する補助」、消防・防災フェスタ いせ、2023 いせ・これ(2023 ISE COLLECTION) 伊勢市芸術祭「第66回伊勢市民芸能祭 出演団体を募集」、新型コロナワクチン接種に関するお知らせ
6月 1日号	36	54,550	防災特集「台風の脅威!! “本当は怖い” 高潮って?」、伊勢市防災大学の受講生を募集、特殊詐欺等被害防止機器の購入費を補助、伊勢市犯罪被害者等支援のご案内、「伊勢わいん特区」が認定されました!、電動アシスト付き親子3人乗り自転車のレンタル希望者を募集!、子育て世帯生活支援特別給付金、伊勢市電子図書館でいつでも読書を楽しもう!、恋活マッチングサポート、伊勢まつり「参加団体を募集!」、太陽光パネルと蓄電池で、地球にやさしい暮らしを!、市営住宅・高齢者向け市営住宅の入居者を募集、さまざまな福祉功労者を表彰、伊勢市くらしの便利帳をお届けします!、楽しくわかるスマホ教室、令和5年度に行う下水道工事、図柄入りナンバープレートで伊勢志摩をPRしよう!、企業版ふるさと納税で寄付を頂きました

6月15日号	12	54, 560	部 錦笑亭満堂 真打襲名披露公演・お練り、伊勢古市参宮街道資料館 第24回特別企画展、市営プールをオープンします！、7月11日を含む1週間は“健康文化週間”、第4次伊勢市男女共同参画基本計画(第4次れいんぼうプラン)を策定、6月は環境月間、生活困窮者自立支援・生活保護制度、いせ人権映画祭の作品を募集、「LINE公式アカウント『Desika:伊勢でしか』で発信」、伊勢市のECポータルサイト「ISE ONE(イセ ワン)」
7月 1日号	36	54, 560	市民健康活動特集「みんなですすめる健康づくり」、特定健康診査を受けましょう！、第1回インクルーシブスポーツフェスタ、8月1日(火)から保険証が変わります!!、「夏休み親子リサイクル教室」参加者募集、地籍調査について、小学生のみんな！あつまれ!!、ダンスワールド in 伊勢、第71回 伊勢神宮奉納全国花火大会、楽しく分かるスマホ教室、令和5年度に行う下水道工事、「パートナーの日」啓発事業『村尾信尚講演会』、男女共同参画推進事業者などを募集
7月15日号	12	54, 580	楽しく いせの文化と歴史を学ぼう!!、企業&大学連携講座「電気とお菓子で親子の絆を深めよう!」、家庭と地域の力で、子どもが生き生き輝く夏休みに!、夏休み親子施設見学会、認知症キッズサポーター☆養成講座、皇學館大学生による夏休み宿題タイム、統計調査員に登録しませんか?、総合型地域スポーツクラブ交流・PR事業 スポレク教室、パーソナルファイルの活用、はじめましょう 住まいの終活、令和5年度物価高騰生活支援給付金のお知らせ、福祉医療費受給資格証が更新されます、野口みずき杯 2023 中日三重 お伊勢さんマラソン「市民先行申込は8月2日(水曜)・12:00から」
8月 1日号	28	54, 580	中村佐洲 生誕150年記念特集、入園児を募集! 私立幼稚園・私立認定こども園(1号認定)、ひきこもり支援フォーラム、非核・平和 第44回 空襲展、令和6年4月採用(後期試験)市職員・消防職員を募集、お家の家具を固定しましょう!、健康なんでも相談室、養護老人ホームへの入所相談、三重交通Gスポーツの杜 伊勢「中期(9~11月)教室 受講生を募集」、成年後見講演会、第3回 いせ市民後見人養成講座
8月15日号	12	54, 570	救急・災害を考える集い、ボッチャ交流大会、FUN! FUN! 工作、家庭教育応援講座、公民館講座「スマホ講座・Zoom講座」、公民館講座の受講生を募集、補聴器の購入を支援、第71回 伊勢神宮奉納全国花火大会の受賞者

9月 1日号	36	54, 580	<p>特集「全ての人を楽しめる！インクルーシブスポーツの世界」皇學館大学インクルーシブスポーツ推進プロジェクト、保育所・幼稚園などの入園児を募集、外宮参道伊勢和紙行灯ストリートギャラリー 松尾たいこ展、知ろう！分かって！「LGBT勉強会」、いせスポーツフェスティバル2023「元オリンピック選手 尾西美咲さんと楽しく歩こう！」、西谷綾子のRUNクリニック、秋の出会い応援交流会、「令和5年度 伊勢のお店応援商品券」予約申し込み開始、伊勢市ひきこもり地域支援センターつむぎを開設！、いせ就労チャレンジ☆カフェで就労を支援します！、空家等の適切な管理をお願いします、みんなで防ごう！障がい者・高齢者虐待、伊勢市の下水道事業の取り組み、新型コロナワクチン接種に関するお知らせ、9月10日～16日は自殺予防週間</p>
9月15日号	12	54, 570	<p>動物愛護週間、女性のためのICTスキルUP実践講座、安全・安心なまちづくり、いせファミリー・サポート・センター、放課後児童クラブの利用児童を募集、マダニ媒介感染症に注意しましょう！、空家に関する補助制度のご案内、環境フェア&2023福祉フェスティバル、10月1日(日)から伊勢ひかり病院におかげバスが停車します！</p>
10月 1日号	28	54, 530	<p>特集 5年ぶり 待ちに待った本格開催！「伊勢まつり」、陸曳・川曳ともに開催！「初穂曳」、東京ディズニーリゾート(R)40周年スペシャルパレード、第3回 男女共同参画川柳「受賞作品決定!!」、新しいごみ処理施設の整備を進めています、伊勢神宮奉納社会人野球「第71回 JABA伊勢・松阪大会」、2023「すぐ食べるならつれてって！」キャンペーン、第66回伊勢市民芸能祭、いせトピア名作映画鑑賞会、楽しく分かるスマホ教室、新型コロナワクチン接種に関するお知らせ、芸協らくご・伊勢おかげ寄席</p>
10月15日号	12	54, 530	<p>低カロリー・バランス食レシピ200号記念「明野高校生とコラボイベント『作ってみよう！低カロリー・バランス食レシピ』」、広島平和記念式典に参加した20人の思い、令和6年4月からプラスチック(プラ100%)の出し方が変わります、めざそや！共同参画(50)「誰もが安心できる避難所に」、第69回伊勢市美術展覧会～芸術の秋を楽しもう～、伊勢市表彰式・まちづくり講演会、こども発達支援講演会</p>

11月 1日号	32	54, 540	部 8市町合同特集「自転車で伊勢志摩へ出かけよう!」、伊勢志摩地域自転車等活用推進計画(案)・伊勢志摩地域自転車ネットワーク計画(案)「意見を募集!」、令和5年度 自転車購入に対して補助を行っています!!、秋の全国火災予防運動「防火・防災ポスターコンクール入賞作品」、令和5年度 いせファミリー・サポート・センター交流会「防災まちあるき」、太陽光発電設備・蓄電池に補助、令和5年度 伊勢市二十歳のつどい、オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン、市・県民税の主な税制改正について、税を考える週間、確定申告はスマホからがおすすめです!、脳卒中・認知症 市民公開講座、令和5年度 不登校の子ども保護者相談会、市営住宅の入居者を募集、はじめてのスマホ体験型講習会、第4回 伊勢ブランド認定品を募集!!、令和4年度決算に基づく健全化判断比率等を公表、伊勢の輝くひと
11月15日号	12	54, 520	野口みずき杯 2023 中日三重 お伊勢さんマラソン、犯罪被害を考える週間、シリーズ消費生活 教えて相談員さん!!、女性に対する暴力をなくす運動、野生動物の出没にご注意ください!、伊勢のお店応援商品券の一般販売〔電子商品券〕、家庭教育応援講座「えいごであそぼう」受講者募集、二十歳のつどいの参加登録は市LINE公式アカウントから!、第16回 伊勢病院ふれあいまつり
12月 1日号	32	54, 530	特集「地域おこし協力隊ー伊勢の魅力、発見中。ー」、2023 ISE COLLECTION 伊勢市芸術祭「第69回 伊勢市美術展覧会の入賞者」「世界に発信!伊勢市短詩型文学祭『入賞作品を展示』」、令和5年度 クラウドファンディング実施中!、人権週間、市の人事行政の運営状況のあらまし、明るい選挙推進強調月間、障害者週間、避難行動要支援者制度、聴覚障がいのある人へ「コミュニケーションを支援」、新しい情報発信のカタチ「デジタルサイネージを設置します!」、広報紙だけじゃない!!「伊勢市から情報をお届け!!」、乗って残そう!バス路線、伊勢市の景観絵画コンクール 伊勢市わがまち写真コンクール、令和5年度 伊勢市二十歳のつどい

12月15日号	12	54,500	<p>人権尊重啓発ポスター・標語の入賞者、市政の発展に尽力された功労者を表彰、まちの計画への意見を募集、伊勢の横輪いも推進協議会が設立10周年を迎えました、みんなで目指そう 犯罪のないまちづくり、令和5年度 伊勢市二十歳のつどい、令和6年度 医師奨学生・看護師奨学生を募集、新型コロナワクチンに関する問い合わせ窓口が変わります、初詣は混雑を避けてお楽しみください、年末年始の休日・夜間応急診療所の診療日、年末年始の業務案内、伊勢うどんフォトコンテスト「作品を募集」</p>
1月 1日号	32	54,520	<p>特集「伊勢わいん特区～伊勢産ワインへの挑戦～」、令和6年新年のごあいさつ、2023 ISE COLLECTION「世界に発信！伊勢市短詩型文学祭」の入賞作品が決定、入学に係る費用の一部（就学援助費）を入学前に支給、いせファミリー・サポート・センター、第3回 インクルーシブスポーツフェスタ、伊勢市クリエイターズエキシビション2023「外宮参道 大山真珠店×井原宏蒨・Ryo Fujimoto作品展示」、市民税・県民税 申告相談は事前予約制で行います、税務署からのお知らせ、伊勢市物価高騰生活支援給付金(7万円)のお知らせ、今日マチ子 作品展覧会&トークイベント、楽しく分かるスマホ教室、明るい選挙啓発ポスターコンクール 県審査入賞作品を紹介！、企画展「大湊 船と人～歴史を刻む旧市川造船所資料～」</p>
2月 1日号	32	54,510	<p>特集「学校給食ができるまで」皇學館大学「広報いせ」特集記事制作プロジェクト、伊勢市クリエイターズエキシビション2023「若松屋×Ryo Fujimoto コラボレーション作品ー白波ー」、事業者の皆さんへ「伊勢市中小企業者物価高騰支援金を交付します」、住民税非課税世帯等の皆さんへ「物価高騰生活支援給付金（7万円）」の給付手続き期限が迫っています、女性限定「1DAYインターンシップ」、高齢者や認知症にやさしい応援団「こども作文コンクール」の優秀作品、第9回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM いせ人権映画祭、伊勢市青少年育成市民会議 講演会「スマホ時代の子どものために」、「日本語学習支援者養成講座」伊勢・鳥羽・志摩3市合同、勢田川ウォッチング、地域包括ケアシステム啓発講演会、伊勢市生涯学習フェスティバル、軽自動車に関するお知らせ、市・県民税の申告、所得税の確定申告、2月は省エネルギー月間、各種委員が決まりました、野口みずき杯 2023中日三重 お伊勢さんマラソン</p>

2月15日号	16	54,500	<p>部</p> <p>地元消防団がやってくる!!「市内小学校で防火防災授業」、いせっ子朝食メニューコンクール入賞作品を紹介、老人クラブをご紹介、美し国三重 市町対抗駅伝、シリーズ人権、病児保育エンゼルのご利用を、令和5年度 男女共同参画推進事業者を決定、シリーズ消費生活 教えて相談員さん!!、事業所で「受動喫煙防止対策ステッカー」の活用を!、令和5年度 二十歳のつどい</p>
3月 1日号	28	54,520	<p>特集「スマートシティでよりよい生活を」、5市町合同記事「ぶらりすと」スマホひとつでお得に伊勢志摩、学用品費・給食費などを援助、令和5年 火災・救急・救助の概況(速報値)、春季全国火災予防運動を実施、住民税均等割のみ課税世帯への給付 低所得の子育て世帯への給付金加算、事業者の皆さんへ「伊勢市中小企業者物価高騰支援金」申請期限迫る!、戸籍の証明書取得や手続きが便利に!、第12回 いせ市民活動フェスティバル、重要「令和6年4月からプラスチック製品の出し方が変わります!!」</p>
3月15日号	8	54,500	<p>もうすぐ伊勢にも桜の便りが届きます、伊勢総合病院の職員(薬剤師)を募集、シリーズ循環型社会 MOTTAINAI~3R+リスペクト~をもう一度!!、広報紙だけじゃない!! 伊勢市から情報をお届け!!、伊勢市障がい者地域相談支援センターが変わります、子育てアンケートにご協力を!、4月1日(月曜)から、おかげバス・おかげバスデマンド(予約制)のダイヤが変わります!</p>
4月 1日号	32	54,540	<p>多文化共生特集「違いを知り、広がる世界」、朝熊山麓公園がリニューアル!、小津安二郎監督生誕120年記念講座、補助金・支援などで暮らしをサポート、愛犬に狂犬病予防注射を、皇學館大学 若者の投票率UP!プロジェクト「投票は 明るい未来を 築くかぎ」、住所異動の手続きをお忘れなく、市税の納期内納付にご協力ください、固定資産帳簿の縦覧と課税台帳の閲覧、新型コロナワクチン接種に関するお知らせ</p>

○ CATV広報いせ放送事業

行政情報番組[お知らせ番組(毎週更新)と特集番組(年間9本)]を制作し、市政に関するお知らせなどを放送した。

<特集番組(年間9本)>

放送回数 1日8回(午前6時・8時・11時・午後1時・4時・6時・9時・11時)

月	タイトル	内容
4	令和5年度の主な事業の紹介	令和5年度の事業についてのご案内
6	ごみ減量大作戦～生ごみ減量大作戦の巻～	生ごみの減量方法をご紹介
7	伊勢消防密着24時！～女性職員PRESENTS～	消防士の1日の様子や、伊勢市消防本部の施設・業務をご紹介
8	伊勢の歴史探訪「二見に生きた画人 中村左洲」	中村左州の生涯や左州が描いた風景・生物のリアリティー溢れる作品などをご紹介
9	インクルーシブスポーツってなあに？～みんなで楽しもう！～	誰もが一緒に楽しくできるインクルーシブスポーツ（モルック・ディスクゴルフ・ボッチャ）を、皇學館大学生と伊勢まなび高校生が伊勢市の観光PRキャラクター「はなてらすちゃん」と一緒に体験してご紹介
11	伊勢の歴史探訪～禊と伊勢のまち～	禊の文化について、海水の温浴も交えてご紹介
12	ふるさと未来づくり～まちづくり協議会の取り組み～	まちづくり協議会の活動をご紹介（北浜まちづくり会議、東大淀地区まちづくり協議会）
2	皇學館大学生ごみバスターズ！～大学生と共に学ぶごみ分別～	大学生に向けたごみ減量啓発に取り組む皇學館大学生と「かもしかのごみバスターズ」がストーリー仕立てで分かりやすく、「正しいごみの出し方」をご紹介
3	岡っ引き やすが啓発「身のまわりのうまい話にご用心！」ノ巻	岡っ引きのやすさんが日常に潜むうまい話のトラブル事例とその対処法についてご紹介

<お知らせ番組（毎月2回更新）>

放送回数 1日8回（午前7時・9時・正午・午後2時・5時・7時・10時・翌日午前0時）

月	内容
4	狂犬病予防注射、ゴールデンウィークの交通対策、休日・夜間応急診療所の改修工事 など
5	下水道の計画と整備、春の全国交通安全運動、消費者月間、伊勢神宮奉納花火大会観覧席販売、伊勢市奨学金 など
6	合併処理浄化槽への切り替え、勢田川七夕大そうじ、健康文化週間、伊勢神宮奉納全国花火大会、特定健康診査、応急手当講習、就労準備支援事業、男女共同参画週間など
7	各種証明書のコンビニ交付サービス、二見大祭しめなわ曳、夏の交通安全県民運動、お伊勢さんマラソンエントリー募集、国民健康保険被保険者証の更新、地籍調査 など
8	福祉医療費受給資格証の更新、ごみ減量大作戦 など
9	動物愛護週間、「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業参加者報告、特定健診、特定保健指導、環境フェア、伊勢まつり、秋の全国交通安全運動、第66回伊勢市民芸能祭 など
10	すぐ食べるならつれてって！キャンペーン、高齢者インフルエンザ予防接種、第66回伊勢市民芸能祭、賓日館開館記念日入館無料デイ、結核・肺がん集団検診 など
11	MOTTAINAIポスター入賞作品、お伊勢さんマラソン、伊勢病院ふれあい祭り、消防団員募集 など

12	年末の交通安全県民運動、年末年始のパーク&バスライド、救急医療体制と休日・夜間応急診療所 など
1	不妊不育治療医療費助成事業、おひなさまめぐりin二見 など
2	市・県民税の申告と所得税の確定申告、生物多様性、住所異動の手続き など
3	市税の口座振替、こころの健康づくり、人権映画祭上映作品、市町対抗駅伝、横輪桜まつり2024 など

○ インターネット情報発信事業

<伊勢市ホームページ>

各所属からの情報を掲載するとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページになるよう努めた。

- ・公開ページ数：5,975件（令和6年3月31日時点）
- ・閲覧開始数（セッション数）：6,650,100件（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
- ・広告件数：36件・360,000円

<広報いせFacebook・X（旧Twitter）>

即時性の高い市政情報などを効果的に発信する媒体として、平成29年1月4日から「広報いせFacebook」「広報いせX（旧Twitter）」を運用している。

（令和5年4月1日～令和6年3月31日期間中の投稿・閲覧状況・フォロワー数）

- ・広報いせFacebook：投稿数（343件）、閲覧数（95,011件）、フォロワー数（1,748人）
- ・広報いせX（旧Twitter）：投稿数（343件）、閲覧数（390,589件）、フォロワー数（1,895人）

○ 外部人材の活用

令和5年度から、伝わる広報を目的として外部専門家を活用し、「広報いせ」の4色ページ（表紙・特集・裏表紙）作成を中心に、CATV番組作成やホームページなど、情報発信全般にアドバイスを受けた。

加えて、各所属の広報・プロモーション活動に対する個別指導・支援や職員研修を実施したほか、職員向け「広報ハンドブック」を作成し、全庁的な情報発信力の強化に取り組んだ。

<外部人材> PRDESIGN JAPAN株式会社 代表取締役 佐久間 智之 氏

<契約期間> 令和5年4月13日～令和6年3月31日

<支出額> 3,958,260円

○ 市民相談の実施

市役所内相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、二見生涯学習センター、小俣公民館において行政相談を実施した。

相談名	実 施 日	相 談 担 当 者
法 律	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 午後1時30分～3時30分（先着8人）	弁護士
行 政	毎月第2火曜日 午後1時～ （二見生涯学習センター） 毎月第3火曜日 午後1時～ （広報広聴課相談室） 毎月第4火曜日 午後1時～ （小俣公民館）	行政相談委員
人 権	毎月第2木曜日、6月は6月1日 午後1時～	人権擁護委員
登 記	毎月第2火曜日 午後1時～（先着6人）	県司法書士会伊勢支部会員
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～（先着4人）	三重弁護士会弁護士
公 証	偶数月第1木曜日 午後1時30分～（先着2人）	公証人

項目	区分						
	法律相談	行政相談	人権相談	登記相談	交通事故相談	公証相談	計
登 記	17件	0件	0件	41件	0件	0件	58件
家 庭	50	0	0	0	0	0	50
相 続	100	0	0	32	0	3	135
金 銭	78	0	0	2	0	0	80
土 地	51	2	0	1	0	0	54
福 祉	4	0	0	0	0	0	4
交通事故	5	0	0	0	5	0	10
そ の 他	89	0	4	1	0	1	95
計	394	2	4	77	5	4	486

○ 報道機関への情報提供

8月を除いた各月に市長定例記者会見を開催したとともに、各課から随時の資料提供により市の施策や事業、イベントなどの情報発信を報道機関（伊勢記者会）に対して、積極的に行い、広報活動の充実に努めた。

○ 市政への提案箱システム

開かれた市政を推進し、市民と行政の協働関係を築くため、市政への提案箱システムを活用し、ホームページからの投稿及び紙での提案箱投稿の意見を集約・分類した。

(市政への提案箱設置場所)

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、福祉健康センター（9月末まで）、健康課
(MiraISE 5階)（10月から）

担当部局	件数	受付方法	
		市政への提案箱(窓口)	ホームページ「市政への提案箱」
総務部	8件	5件	3件
危機管理部	5	1	4
情報戦略局	20	12	8
資産経営部	4	4	0
環境生活部	24	18	6
健康福祉部	20	11	9
産業観光部	12	4	8
都市整備部	42	23	19
検査室	0	0	0
会計課	0	0	0
二見総合支所	0	0	0
小俣総合支所	1	0	1
御菌総合支所	0	0	0
上下水道部	3	2	1
教育委員会	24	14	10
議会事務局	0	0	0
選挙管理委員会事務局	2	2	0
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0
伊勢総合病院	3	0	3
消防本部	5	2	3
回答計	173	98	75
回答不要(参考意見)	19	5	14
対象外	6	3	3

文化政策課

○ 文化振興関係

1 文化振興事業

(1) 2023 ISE COLLECTION (いせ・これくしょん) の開催

市民が文化芸術に親しむとともに、日頃の文化芸術活動の成果を発表する場として、“鑑賞・体験・披露”をキーワードに年間を通じて様々なイベント等を開催している。また、ISE COLLECTIONを通して、複数のイベントを一体的に情報発信し、より効果的に文化芸術の振興を図っている。

ア 伊勢市芸術祭

①市民芸能祭の開催

文化芸術（舞台芸能）の振興を図るため、第66回伊勢市民芸能祭を次のとおり開催した。なお、開催業務は、伊勢市文化協会へ委託している。

部 門	開 催 日	開 催 場 所	出演団体数	出演者数	観覧者数
邦楽	5. 10. 1	伊勢市生涯学習センター いせトピア	団体 9	人 150	人 208
能楽	5. 10. 15		3	50	105
吟詠剣詩舞	5. 10. 22		6	111	145
器楽 合唱	5. 11. 5	シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢（観光文化会館）	11	221	347
			10	213	219
洋舞② 舞台芸能	5. 11. 12	伊勢市生涯学習センター いせトピア	7	159	408
			2	14	
洋舞①	5. 11. 19	シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢（観光文化会館）	14	293	504
邦舞	5. 11. 23		12	143	313
計	—	—	74	1,354	2,249

②カルチャーフェスティバルの開催

伊勢市文化協会との共催による体験講座を開催し、気軽に文化芸術を楽しめる機会を提供した。

- ・開催期間 令和5年7月13日～10月14日
- ・講座内容 合唱、箏、バレエ等
- ・会 場 伊勢市生涯学習センターいせトピア、賓日館
- ・参加者数 10講座 120人

③民謡踊り大会の開催

伊勢市文化協会との共催による民謡踊り大会を開催し、伊勢音頭や民踊を楽しめる機会を提供した。

- ・日 時 令和5年8月25日（金）午後7時～午後9時
- ・会 場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール
- ・参加者数 約100人

④市民交流茶会の開催

普段、茶道になじみのない人にも気軽にお茶会を楽しんでいただくことを目的とした、「市民交流茶会」を伊勢茶道協会との共催により開催した。

- ・日 時 令和5年12月10日（日）午前10時～午後3時
- ・会 場 山田奉行所記念館
- ・参加者数 107人

⑤伊勢市美術展覧会の開催

伊勢市及び近隣市町の文化芸術（美術分野）の振興を図るため、第69回伊勢市美術展覧会をシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（観光文化会館）で開催した。

なお、美術展覧会の開催業務は、観光文化会館の指定管理者へ委託している。

- ・部 門 5部門 絵画、彫刻・工芸、写真、書、グラフィックデザイン
- ・開 催 日 令和5年10月24日～10月29日（6日間）
午前9時～午後5時
※10月27日は午後7時、最終日は午後3時30分まで
- ・出品点数 269点
- ・表 彰 市長賞、市議会議長賞、教育長賞、神宮司庁賞、岡田文化財団賞、ケイミックスパブリックビジネス賞、奨励賞を贈呈した。
- ・観覧者数 2,381人
- ・運営委員会

(ア) 概 要

	開催日	協議内容等
第1回運営委員会	5. 5. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・第69回伊勢市美術展覧会の開催要項（案）及び募集要項（案）について ・審査委員の選定方法について ・広報活動について ほか
第2回運営委員会	5. 12. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・第69回伊勢市美術展覧会の開催結果等の報告 ・第70回伊勢市美術展覧会の開催について ・運営面での改善・変更について ・第70回記念事業について ほか

(イ) 委員数 8人（任期2年）

イ 次世代のための文化芸術推進事業

①文化芸術体験講座の開催

子どもたちに芸術・文化活動の楽しさや素晴らしさを知る機会を提供することで、豊かな心と感性を育み、次世代に文化を継承するための体験講座を開催した。この講座は、市

内の文化団体が各小中学校へ出向く、出前講座方式で行っている。

- ・開催期間 令和5年10月17日～令和6年3月15日
- ・講座内容 箏、尺八、三味線、ダンス、バレエ、いけばな、折り紙、合唱、茶道、書道
- ・参加者数 15校 1,573人

②世界に発信！伊勢市短詩型文学祭の開催

日本の伝統的な文芸の形式である短歌・俳句を用い表現することで、未来を担う子供たちが日本の伝統的な短詩型文学に触れ、同時に市の魅力を世界に発信することを目的に、小・中学生を対象に短歌・俳句の作品募集を行い、表彰及び展示を行った。

また、最優秀作品については、海外からの観光客に伊勢の観光スポットなどを知ってもらえるように英訳したポスターを作成し、公共施設等に掲示するとともに、市ホームページ及び伊勢市観光協会ホームページに掲載し、情報発信した。

- ・募集期間 web受付分 令和5年7月21日～9月1日
学校提出分 令和5年7月21日～9月6日
- ・応募作品 1,933点（短歌 405点、俳句 1,528点）
- ・応募者数 1,051人（小学生 866人、中学生 185人）
- ・表彰式 令和5年12月9日 伊勢図書館
- ・作品展示

展示場所	展示期間
伊勢図書館 2階ロビー	5. 12. 2～ 5. 12. 25
ミタス伊勢 中央通路	6. 2. 14～ 6. 2. 27

③「楽しくいせの文化と歴史を学ぼう！」（夏休み博物館イベント）の実施

子どもたちが博物館を訪れ、地域の文化や歴史を学ぶ機会として、文化施設の指定管理者等と連携した事業を次のとおり実施した。

実施施設	開催日	実施内容	参加者数
賓日館	5. 7. 22～ 5. 8. 31	こどもチャレンジクイズ	人 135
古市参宮街道資料館	5. 7. 29	古市の歴史を学ぼう	2
山田奉行所記念館	5. 8. 2～ 5. 8. 31	中村末吉さん飛行機模型作品展	465
	5. 8. 6	キッズフェア	18
	5. 8. 23	こども茶会	12
尾崎罎堂記念館	5. 8. 5	子ども罎堂講座 「罎堂 この人を知ろう」	6

④「伊勢ぶんか学習帳」の作成

子どもたちが伊勢の歴史・文化・伝統を親しみやすく学ぶための啓発物品として、ショウワノート株式会社とコラボレーションし、市オリジナルの「伊勢ぶんか学習帳」を作成した。

【表紙・表紙見返し】

表紙は伊勢うどんの写真に掲載し、表紙見返しは伊勢うどんの歴史を紹介した。

【裏表紙・裏表紙見返し】

伊勢の文化財（賓日館・伊勢河崎商人館・旧豊宮崎文庫）の写真に掲載し紹介した。

- ・数量 10,000部作成（B5版）5mm方眼ノート
- ・配布時期 令和5年10月より配布
- ・配布先 伊勢市内小学校1年生～6年生と令和6年度の新1年生

ウ 文化公演事業

①芸協らくご・伊勢おかげ寄席の開催

平成31年1月21日に（公社）落語芸術協会と締結した「伊勢市における文化芸術鑑賞機会の拡大に関する協定書」に基づき寄席公演を開催した。

- ・開催日時 令和5年11月16日、17日
開演 午後6時30分 終演 午後8時45分
- ・出演者 春風亭昇太さん、桂宮治さん、桂小すみさん ほか
- ・開催場所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・観覧者数 488人（内訳：11月16日282人、11月17日206人）
- ・観覧料 前売2,700円 当日3,000円 2日間通し券5,000円

②学校らくごの開催

今後の伊勢市を担う児童に伝統文化に興味を持ってもらうきっかけ作りを目的に、市内小学校に希望を募り落語講座を実施した。

- ・開催日時 令和5年11月17日
低学年 午前9時15分～午前10時 高学年 午前10時35分～午前11時35分
- ・講師 昔昔亭A太郎さん
- ・開催場所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・講座内容 落語における仕草表現の体験を交えて、伝統芸能である落語を楽しく鑑賞するためのプログラム。

エ 連携事業

①市民ふれあいスポカルウォークの開催

スポーツと文化（カルチャー）を合わせたウォーキングを開催し、地域に残る文化資産等を巡った。この事業は、スポーツ課と連携して実施している。

開催日	内容		参加者数
5. 5. 14	第1回	「郷土の画家中村左洲を偲ぶ」 (御塩浜・中村左洲筆塚・花房志摩守供養碑)	人 中止
5. 6. 18	第2回	「米山新田を巡る」 (米山新田・正覚寺・赤井山)	92

5. 9. 17	第3回	「小津安二郎青春の地を歩く」 (船江公園・船江神社・河崎の街並み)	人 98
5. 11. 5	第4回	「倭姫宮御鎮座100周年」 (倭姫宮・隠岡遺跡・尾部古墳)	89
6. 3. 3	第5回	「五十鈴川河口探訪」 (渡船場跡・台場跡・一色塩田跡)	86

(2) アクティブ・アート推進事業

観光誘客課が実施したクリエイターズ・ワーケーション促進事業に参加したクリエイターと連携し、「伊勢市クリエイターズエキシビション 2023」と題して、外宮参道を拠点に、以下のとおり作品展示会等を開催した。

①外宮参道伊勢和紙行灯ストリートギャラリー 松尾たいこ展

松尾たいこ氏（イラストレーター／アーティスト）が描いた外宮等の9点のイラストを伊勢和紙にプリントし、外宮参道の行灯18基に展示した。

- ・期間 令和5年9月1日（金）～令和6年2月29日（木）
- ・場所 外宮参道

②旅館つるや×牛嶋浩美「とゆけかるた」原画展示&ワークショップ

牛嶋浩美氏（イラストレーター）が伊勢をテーマに制作したカルタ「とゆけかるた」の原画展示とワークショップを開催した。

- ・期間 原画展示：令和5年11月20日（月）～24日（金）午前10時～午後4時
（初日は午後2時～午後4時）

ワークショップ：令和5年11月20日（月）～22日（水）午後2時～午後4時

- ・場所 旅館つるや（伊勢市本町20-20）

③大山真珠店×井原宏蒨・Ryo Fujimoto 作品展示 ー歪んだ真珠は海に還るー

井原宏蒨氏（彫刻家）とRyo Fujimoto氏（音楽家）が、バロックパール（商品にならなかった真珠）を使用して海の音を奏でる音楽装置を制作し、店内に映像や音楽作品、彫刻作品とともに展示した。

- ・期間 令和6年1月14日（日）～3月10日（日）午前9時～午後5時
- ・場所 大山真珠店（伊勢市本町18-19）

④若松屋×Ryo Fujimoto コラボレーション ー白波ー

Ryo Fujimoto氏（音楽家）が商品をイメージして制作した音楽作品を二次元コードにより配布することで音楽作品の公開を行った。

- ・期間 令和6年1月14日（日）～3月10日（日）
- ・場所 若松屋各店舗

(3) 全国大会等参加激励事業

文化芸術分野の全国規模以上の大会に出場する者に激励金を交付した。また、庁舎に顕彰ポスターを掲出した。

大会名	交付人数	交付金額
第47回全国高等学校総合文化祭（将棋部門） 第59回全国高等学校将棋選手権大会	人 4	円 40,000
第47回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会	2	20,000
第47回全国高等学校総合文化祭（囲碁部門）	2	20,000
第36回アマチュア竜王戦全国大会	1	10,000
第36回全国高等学校将棋竜王戦	2	20,000
第70回全国高等学校ビジネス計算競技大会	2	20,000
第47回全国高等学校総合文化祭（写真部門）	2	20,000
第24回大阪国際音楽コンクール	2	20,000
第77回全日本アマチュア将棋名人戦	1	10,000
第76回全日本合唱コンクール全国大会	28	280,000
第34回全国高等専門学校プログラミングコンテスト	2	20,000
第13回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦全国大会	2	20,000
第32回全国高等学校文化連盟将棋新人大会	2	20,000
第17回声楽アンサンブルコンテスト全国大会	18	180,000
計	70	700,000

（４）「伊勢ぶんかネット」の配信

伊勢市を拠点に活動する文化団体をサポートするため、国や県等の公的機関による助成事業や登録団体が主催するイベント等の情報をEメールやファックス、伊勢市LINE公式アカウント等を利用して、毎月1回配信した。また、市の後援事業等の情報を市ホームページにより周知した。

- ・登録団体数 136 団体（令和6年3月31日時点）
- ・配信回数 16 回（令和6年3月31日時点）

2 全市博物館構想事業

平成20年に策定した「伊勢市全市博物館構想」は、市域を屋根のない巨大な博物館と捉えて博物館や文化資産を収蔵品とみなし、一体のものとして有効活用を図ることを目的としている。

（１）伊勢まるごと博物館マップの作成・配布等

博物館を紹介するとともに、点在する文化資産を記したマップを作成し、各博物館や観光案内所等で配布した。また、「博物館スタンプラリー」を実施し、3か所以上の施設を巡った人には記念品を贈呈した。

（２）情報発信

博物館14館の企画展示や催し物情報、臨時休館日や季節に応じた見どころ等を月単位でまとめ、「今月の伊勢まるごと博物館」として市ホームページで紹介した。

（３）転入者への市内博物館施設無料入館券

令和6年2月19日から伊勢市へ転入された方に対して、賓日館、伊勢河崎商人館、尾崎罌堂記念館へ無料で入館できるチケットを配布する取り組みを開始した。

3 文化財保護事業

(1) 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金

伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、保存継承団体が行う後継者育成事業、備品整備事業、記録作成事業、普及宣伝事業、保存維持事業に対して補助を行っている。令和5年度は新型コロナ禍が明けたことにより、行事を再開した団体が多く、23団体中16団体に補助金を交付した。

(2) 文化財保護審議会

文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議する機関として設置しており、令和5年度は会議を1回開催した。

[委員数] 9人(任期:令和4年4月1日~令和6年3月31日)

[概要]

開催日	内 容	
6. 3. 13	第1回	報告事項 ・文化財関係補助事業について ・文化財関係事業 ・文化財案内板の設置・修繕・英訳について

(3) 文化財の指定等

市にとって重要な文化財を指定し、将来の文化的発展の基礎をなすものとして保護する。令和5年度は新規指定等の該当はなかった。

(4) 文化財保存整備事業

指定文化財等の適正な保存管理を図るため、下記事業に対して補助金を交付した。

ア 国史跡離宮院跡環境整備事業

- ・名称 離宮院跡
- ・種別 国指定史跡
- ・所在地 小俣町本町
- ・所有者(補助事業者) 官舎神社氏子総代会
- ・実施期間 令和5年4月18日~令和5年10月21日
- ・事業内容 残存する土塁など遺跡のある環境を整備する。
- ・事業費 347,666円(市補助155,000円、所有者192,666円)

イ 弥栄の松 病害対策事業

- ・名称 弥栄の松
- ・種別 市指定天然記念物
- ・所在地 大湊町786
- ・所有者(補助事業者) 日保見山八幡宮
- ・実施期間 令和5年5月24日~令和6年3月31日
- ・事業内容 「すす葉枯病」を罹病した可能性が高く、衰弱しているため、治療(殺菌剤散布)により樹勢回復を図る。
- ・事業費 174,900円(市補助87,000円、所有者87,900円)

(5) 二見浦保存管理計画運営事業

平成18年7月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、平成21年度に策定した名勝二見浦保存管理計画に基づき、適切な名勝の整備、活用及び運営を行うものである。令和5年度は、名勝指定地内における現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を1回開催した。

〔委員数〕 5人（任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日）

〔概要〕

開催日	内 容	
5. 7. 26	第1回	審議事項 ・石灯籠の移設について ・茶屋排水区排水路フェンスの修繕について 報告事項 ・現状変更案件の経過等について

(6) 旧豊宮崎文庫整備活用事業

大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、桜の時期に合わせ令和6年3月23日から4月7日に一般公開を実施した。

ア 普及関係

旧豊宮崎文庫と市天然記念物オヤネザクラの概要と文化財保護の大切さを知ってもらうために史跡見学会を開催した。

開催日	講 師	開 催 場 所	開 催 時 間	参加者数
6. 3. 30	樹木医 中村昌幸 氏	旧豊宮崎文庫	10:00 ~ 12:00	人 12
	職員			
6. 3. 31	職員	旧豊宮崎文庫	10:00 ~ 12:00	21

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岡本三丁目地内	旧豊宮崎文庫練堀修繕工事	台風7号の影響で剥落した漆喰壁の修繕	円 1,027,400	5.10.17	6. 3.13

(7) 文化財案内板設置事業

市内の指定文化財や史跡等を周知するため、文化財案内板を設置している。令和5年度は、新たに2基設置し、既設案内板3基を修繕した。

また、外国人観光客に対応するため、既設案内板3件の解説文を英訳し、読み取り二次元バーコードステッカーを貼付した。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠部町地内	「国道風致樹木碑」案内板設置工事	文化財周知のための案内看板を設置	円 88,000	5. 5.18	5. 6.21
中島二丁目地内	「浅間堤のケヤキ」案内板設置工事		198,000	6. 2. 5	6. 3.22

(8) 賓日館保存事業

賓日館は市が所管する文化財（国の重要文化財）であり、適切に保存していくための取組を行った。

ア 保存活用計画の策定

建造物の現状や課題を把握し、保存と活用を図るための計画作成に着手した。計画作成にあたっては、学識経験者で構成した保存活用計画策定委員会による調査審議により行った。

- ・実施期間 令和5年4月1日～令和6年3月19日
(全体の実施期間は令和7年3月24日まで)
- ・事業費 7,492,792円(国補助4,117,000円、県補助金524,000円、市2,851,792円)
- ・事業内容 保存活用計画作成、保存活用計画策定委員会の開催(3回開催)

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町茶屋地内	(注)重要文化財旧賓日館保存活用計画策定業務委託	調査等業務、保存活用計画策定、委員会の運営支援、報告書作成	円 7,172,000 【契約額】 12,980,000 [令和5年度] 7,172,000 [令和6年度] 5,808,000	5. 6. 21	7. 3. 24

(注) 債務負担行為

ウ 工事関係

建物等の維持管理のために修繕工事等を施行した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋地内	賓日館本館中庭一階南面濡縁・戸袋修繕工事	南側1階濡縁の縁板等、戸袋の側板等の復旧	円 404,250	5. 11. 2	6. 1. 15

(9) 伊勢うどん魅力発信事業

伊勢うどんは、伊勢市内で継承されてきた郷土食であり、その発祥は江戸時代にまでさかのぼる。現在でも市民にとっては日常的に食されるとともに、伊勢参りにおける代表的な食べ物の1つとして、多くの観光客に親しまれている。

当事業は、伊勢うどんを地域の貴重な文化資源として再認識し、市内外の関心を高めて、さらなる振興と継承につなげることを目的としている。そして、伊勢うどんの食文化としての価値を明らかにしたうえで、国の登録無形民俗文化財への登録をめざしている。

ア 伊勢うどんフォトコンテストの実施

伊勢うどんに対する関心と理解を深めてもらうことを目的に実施した。

- ・募集テーマ 「わたしが思う素敵な伊勢うどん」
- ・応募期間 令和5年12月15日～令和6年1月19日
- ・応募点数 511点(応募者数 333人)
- ・賞 最優秀賞1名(点)、優秀賞3名(点)、特別賞5名(点)

4 郷土資料収蔵施設管理運営事業

市が所蔵する歴史的資料等は、松下倉庫と旧沼木中学校校舎を収蔵施設としており、より良い資料保存環境づくりに努めている。また、外部への郷土資料の貸出しも行っている。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
上野町地内	旧沼木倉庫解体工事	解体工事	円 3,828,000	5. 7. 21	5. 9. 11

5 郷土資料館整備事業

当市の郷土資料館は平成23年に閉館して以降、郷土の歴史文化を総合的に紹介する博物館がなかったが、いせ市民活動センター北館に設置することを決定したことから、施設の整備に向けた取組に着手した。

ア 基本構想・基本計画の策定

新たな郷土資料館の基本理念や基本方針を整理し、事業活動や展示内容等の考え方を整理するための計画作成に着手した。計画作成にあたっては、学識経験者で構成した基本計画策定委員会による調査審議により行った。

- ・実施期間 令和5年12月19日～令和6年3月31日

(全体の実施期間は令和6年8月30日まで)

- ・事業内容 基本構想・基本計画作成、保存活用計画策定委員会の開催（4回開催）

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
市内	(注) (仮称)伊勢市郷土資料館基本計画策定業務委託	計画策定支援、委員会運営補助、計画書(案)作成	円 0 【契約額】 14,388,000 [令和5年度] 0 [令和6年度] 14,388,000	5. 12. 20	6. 8. 30

(注) 債務負担行為

6 企画展開催事業

郷土の歴史文化のなかから特定のテーマを設定し、企画展を開催した。

ア 企画展

名称	開催場所	開催期間	入場者数
中村左洲生誕150年記念展 二見に生きた画人 中村左洲 ～活・生・粋の絵画～	賓日館	5. 8. 5 ～ 5. 8. 31	人 2,172
大湊 船と人 ～歴史を刻む旧市川造船所資料～	いせ市民活動センター北館1階ホール	6. 1. 16 ～ 6. 1. 29	625

イ フィールドワーク

開催日	名称	開催場所	参加者数
5. 10. 28 (5. 11. 11)	フィールドワーク“左洲のゆかりの地めぐり”	二見町今一色、西地内	人 15

ウ 講演会

開催日	名称	開催場所	参加者数
5. 8. 20	神都画人と中村左洲	賓日館	人 26
5. 8. 20	賓日館と中村左洲作品と表具	賓日館	26
6. 1. 27	旧市川造船所資料にみるカツオー一本釣り漁船の発達	いせ市民活動センター 北館2階ホール	70

7 古市資料館管理運営事業

古市参宮街道ゆかりの資料（妓楼・古市歌舞伎・岩城万金丹・画僧月僊関係等）を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 伊勢古市参宮街道資料館運営委員会
- ・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

（1）企画展の実施

企画展名	開催期間	入館者数
麻吉旅館と松月久和の世界	5. 7. 4 ~ 5. 8. 6	人 401

（2）入館者数

月別区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数	日 26	25	26	26	25	26	26	24	24	24	24	26	302
入館者数	人 537	187	223	312	219	163	309	245	198	371	197	254	3,215

（3）2階研修室利用回数・利用者数

月別区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 57	49	57	51	45	52	51	45	41	44	44	52	588
利用者数	人 425	334	393	339	315	385	343	314	302	331	340	402	4,223

8 伊勢河崎商人館管理運営事業

江戸時代に「伊勢の台所」として栄えた河崎の代表的な商家を資料館として活用し、当時の暮らしを支えた商業や生活に関する資料を展示公開している。

なお、施設建造物のうち12件は、平成13年に国の登録有形文化財に登録されている。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆
- ・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

(1) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	25	27	309
入館 者数	人 380	342	336	275	336	404	505	718	402	373	434	506	5,011

(2) 貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 10	4	5	6	10	7	6	5	20	8	5	6	92
利用 者数	人 125	24	44	37	79	86	39	29	362	75	33	117	1,050

(3) 工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。また、駐車場拡充のため隣接地82.84㎡を公有地化し、駐車場整備工事を行った。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
河崎2丁目 地 内	伊勢河崎商人館消防 用設備修繕工事	消防用設備修繕一式	円 195,800	5. 5.17	5. 5.17
〃	伊勢河崎商人館母屋 二階雨戸修繕工事	雨戸修繕一式	212,300	5. 6.19	5. 8. 2
〃	伊勢河崎商人館角吾 座照明改修工事	照明設備改修一式	468,600	5. 6.26	5. 7.26
〃	(注) 伊勢河崎商人館駐車 場舗装工事	駐車場舗装一式	1,245,200	6. 2. 1	6. 3.13
〃	伊勢河崎商人館母屋 茶室等畳替え修繕工 事	畳替え修繕一式	316,250	6. 2. 8	6. 3. 7
〃	伊勢河崎商人館母屋 外壁杉皮張替修繕工 事	外壁杉皮張替一式	198,000	6. 2.21	6. 3.16

(注) 農林水産課施行

9 尾崎号堂記念館管理運営事業

我が国の憲政史上に不滅の功績を残し、世界平和の取組に尽力した尾崎号堂に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成22年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人罌堂香風
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
政治家尾崎行雄—伊勢との関わり—	5. 7. 22～ 5. 8. 31	人 129
憲政擁護運動と尾崎行雄	6. 3. 2～ 6. 3. 31	92

(2) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 26	26	26	26	26	26	26	26	24	24	23	27	306
入館 者数	人 226	343	106	101	107	54	52	93	61	37	144	92	1,416

(3) 2階会議室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 44	35	50	41	39	54	37	38	38	34	32	48	490
利用者 数	人 765	789	732	843	593	789	545	681	724	551	523	1,091	8,626

(4) 工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
川端町地内	尾崎罌堂記念館空調機取替工事	空調機取替一式	円 1,177,000	5. 4. 25	5. 5. 30
〃	尾崎罌堂記念館駐車場及び歩道舗装改修工事	駐車場及び歩道舗装改修一式	365,200	6. 2. 6	6. 3. 6
〃	尾崎罌堂記念館天井防音材落下修繕工事	天井防音材落下修繕一式	388,300	6. 2. 26	6. 2. 28
〃	尾崎罌堂記念館展示室ショーケース照明器具取替等修繕	ショーケース照明器具取替等修繕一式	295,900	6. 3. 6	6. 3. 8

10 山田奉行所記念館管理運営事業

江戸幕府が主要都市に設置した遠国奉行を今に伝える数少ない資料館として、山田奉行所に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成27年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 山田奉行所記念館友の会
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
「中村末吉さん飛行機模型作品展」	5. 8. 2～ 5. 8. 31	人 465
「キッズフェア」	5. 8. 6	18
「こども茶会」	5. 8. 23	12
「山田奉行の足跡 (1)」	6. 3. 1～ 6. 3. 31	555

(2) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	26	27	26	27	26	26	26	26	24	24	25	27	310
入館 者数	214	276	345	188	465	175	339	405	428	217	217	555	3,824

(3) 貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 2	8	8	10	11	8	10	12	9	8	5	9	100
利用 者数	人 6	151	154	57	114	47	174	171	157	75	33	167	1,306

(4) 工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
御 菌 町 上 條 地 内	山田奉行所記念館 長屋門及び塀等塗 装工事	外壁塗装一式	円 1,155,000	6. 1. 29	6. 3. 1

11 観光文化会館施設管理運営・補修事業

市民の様々な文化活動を支援するための施設として、ホールや会議室等の貸館のほか、質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供等の取組を行った。

平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

【指定管理者】

- ・管理者名 株式会社 ケイミックスパブリックビジネス
- ・指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）

(1) 自主事業

観光文化会館の設置目的を達成するため指定管理者自ら企画実施する自主事業（鑑賞型や参加型の公演事業）を計画した。

区分	主な事業名	実施件数	入場者数
鑑賞型事業	爆笑お笑いフェス in 伊勢	14 件	10,660 人
普及型事業	室内楽の魅力 ～ピアノトリオの響きにつつまれて～	11	768
参加型事業	とこわか倶楽部 for kids 伊勢小さな子どもの歌声クラブ	10	1,896
計		35	13,324

(2) 工事関係

会館の安全な運営のため、建物や設備について改修工事等を施行した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩淵1丁目内	(注) 伊勢市観光文化会館 舞台吊物機構制御システム整備工事	制御盤更新一式	5,500,000 円	5. 6. 5	6. 3. 13
〃	伊勢市観光文化会館 搬入口庇設置工事	庇取付一式	1,296,900	5. 6. 15	5. 9. 6
〃	伊勢市観光文化会館 舞台照明用調光操作卓等補修工事	調光操作卓等補修一式	814,000	5. 6. 20	5. 7. 14
〃	(注) 伊勢市観光文化会館 受電設備改修工事	受電設備改修一式	3,229,600	5. 12. 1	6. 3. 5
〃	伊勢市観光文化会館 ホワイエ男子トイレ改修工事	トイレ改修一式	955,900	6. 1. 29	6. 3. 13

(注) 営繕課施行

(3) ネーミングライツ

新たな財源を確保し、施設の運営及び維持管理等の財源に充てるため、ネーミングライツ制度を導入している。

- ・対象施設 観光文化会館
- ・愛称 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
- ・命名権者 シンフォニアテクノロジー株式会社
- ・命名権料 年額500万円 (税込み)
- ・契約期間 平成29年4月1日～令和9年3月31日 (10年間)